

令和2年度(平成31年度・令和元年度対象)

# 三豊市教育委員会 点検・評価報告書

令和2年8月

三豊市教育委員会



# 目 次

1 はじめに	1
2 教育委員会活動の状況	1
(1) 教育委員会議の開催状況	1
(2) 教育委員会議の審議状況	1
(3) 教育委員会活動の概要	7
(4) 教育委員会に関わるその他の主な活動	9
3 具体的な推進施策の取組状況評価	11
(1) 点検・評価の対象	11
(2) 点検・評価の方法	12
(3) 点検・評価委員会開催日及び協議事項	12
(4) 点検・評価結果の構成	13
(5) 点検・評価結果の年度比較	13
(6) 総合評価	14
(7) 点検・評価結果	15
① 乳幼児期の教育方針	15
② 小学校の教育方針	19
③ 中学校の教育方針	25
④ 学校等施設整備の推進	31
⑤ 学校再編整備の推進	32
⑥ 生涯学習の方針	33
⑦ 青少年の健全育成	41
⑧ スポーツ振興の方針	45
⑨ 人権教育の推進	47
⑩ 学校給食の方針	50
資 料	
1 教育委員会委員及び組織	51
2 公立学校施設の概要	52

## 1 はじめに

三豊市教育委員会では「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、平成31年度・令和元年度の教育委員会活動を振り返り、また、本市教育委員会が毎年度示している「三豊市の教育方針」に基づく、具体的な推進施策の取組状況の点検・評価を行いました。

この報告書は、平成31年度・令和元年度の教育委員会活動及び具体的な推進施策の取組状況の点検・評価について記したものです。

## 2 教育委員会活動の状況

### (1) 教育委員会議の開催状況

教育委員会議については、定例会は毎月1回開催、臨時会は必要に応じて開催。平成31年度・令和元年度は合計15回開催しました。

- |       |       |      |
|-------|-------|------|
| ① 定例会 | ..... | 12 回 |
| ② 臨時会 | ..... | 3 回  |

### (2) 教育委員会議の審議状況

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第21条に定める職務について、同法第25条及び「三豊市教育長に対する事務委任等規則」の規定に基づき、平成31年度・令和元年度は合計で63件について審議しました。

- |   |      |
|---|------|
| ① 教育委員会事務局及び学校その他の教育機関の職員(県費負担教職員を除く。)の任免その他の進退を行うこと..... | 5 件  |
| ② 県費負担教職員の任免その他の進退について内申を行うこと.....                        | 2 件  |
| ③ 教育委員会規則の制定、及び改廃すること.....                                | 13 件 |
| ④ 教育委員会の所管に属する各機関及び委員会の委員の任免又は委嘱若しくは解職に関すること.....         | 4 件  |
| ⑤ 就学援助費の認定及び奨学生選考等に関すること.....                             | 11 件 |
| ⑥ 財産の取得・処分について.....                                       | 0 件  |
| ⑦ その他.....  | 28 件 |

○平成31年度・令和元年度 教育委員会審議案件等一覧

開催日時	議案番号	協議事項
H31.4.24(水) (定例会)	議案第1号	平成31年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
	議案第2号	平成31年度学校評議員の認定について
	議案第3号	図書館システム更新に伴う三豊市プロポーザル審査委員の委嘱について
	議案第4号	三豊市立学校再編整備基本方針について
R1.6.28(金) (定例会)	議案第1号	三豊市就学援助費支給要綱の一部改正について
	議案第2号	令和元年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
	議案第3号	社会教育委員の委嘱について
	議案第4号	公民館運営審議会委員の委嘱について
	議案第5号	公民館分館主事の任命について
R1.7.23(火) (定例会)	議案第1号	令和元年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
R1.8.1(木) (臨時会)	議案第1号	令和2年度使用 小学校教科書採択及び「特別の教科 道徳」を除く中学校教科書採択について
R1.8.29(木) (定例会)	議案第1号	幼稚園預かり保育条例の一部改正について
	議案第2号	幼稚園預かり保育条例施行規則の一部改正について
	議案第3号	学校給食センター事務処理に関する規定の一部改正について
	議案第4号	令和元年度三豊市点検・評価報告書(案)について
R1.9.30(月) (定例会)	議案第1号	令和2年度保育所・幼稚園管理職候補者選考試験について
	議案第2号	令和元年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
R1.10.25(金) (定例会)	議案第1号	三豊市就学援助費支給要項の一部改正について
	議案第2号	令和元年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
R1.11.26(火) (定例会)	議案第1号	令和元年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
	議案第2号	三豊市図書館の臨時休館について
	議案第3号	三豊市立学校条例の一部改正について
	議案第4号	三豊市立幼稚園預かり保育条例の一部改正について
	議案第5号	三豊市立幼稚園預かり保育条例施行規則の一部改正について
	議案第6号	三豊市公民館条例の一部改正について
R1.12.17(火) (臨時会)	議案第1号	臨時的任用職員の懲戒処分について
R1.12.23(月) (定例会)	議案第1号	三豊市スポーツ・文化芸術大会出場激励金交付要綱の一部改正について
	議案第2号	三豊市スポーツ・文化芸術大会出場補助金交付要綱の一部改正について
R2.1.30(木) (定例会)	議案第1号	三豊市立幼稚園の管理運営に関する規則の一部改正についてに関する規則の一部改正について
	議案第2号	三豊市立幼稚園の通園区域及び園の指定に関する規則の一部改正について
	議案第3号	三豊市学校給食センター条例施行規則の一部改正について
	議案第4号	三豊市教育委員会文書管理規程の一部改正について
	議案第5号	令和元年度要保護・準要保護児童生徒の認定について

開催日時	議案番号	協議事項
R2.1.30(木) (定例会)	議案第6号	三豊市学校運営協議会規則の一部改正について
	議案第7号	三豊市立学校の管理運営に関する規則の一部改正について
	議案第8号	三豊市学校職員の服務に関する規則の一部改正について
	議案第9号	公共施設使用料統一に伴う関係教育委員会規則の整備に関する規則について
	議案第10号	三豊市三野町文化センター条例を廃止する条例について
	議案第11号	三豊市文化芸術振興条例の制定について
	議案第12号	三豊市少年育成センター条例の一部を改正する条例について
	議案第13号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係教育委員会規則の整備に関する規則について
R2.2.21(金) (定例会)	議案第1号	令和元年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
	議案第2号	令和2年度準要保護児童(小学校入学前)の認定について
	議案第3号	令和2年度 人権教育指導員の再任命について
	議案第4号	三豊市緑ヶ丘総合運動公園条例の一部改正について
	議案第5号	三豊市緑ヶ丘総合運動公園条例施行規則の一部改正について
	議案第6号	三豊市財田町総合運動公園条例施行規則の一部改正について
	議案第7号	三豊市三野町文化センター条例の廃止の取りやめについて
	議案第8号	三豊市公民館条例の一部改正について
	議案第9号	三豊市図書館条例の一部改正について
	議案第10号	三豊市三野町生涯学習センター条例の制定の取りやめについて
	議案第11号	三豊市山本町生涯学習センター条例の一部改正について
	議案第12号	三豊市文化芸術振興条例を制定する条例の取りやめについて
	議案第13号	公民館分館主事の任命について
	議案第14号	三野町図書館移転に伴う臨時休館について
R2.3.6(金) (臨時会)	議案第1号	小・中学校人事異動について
	議案第2号	幼稚園等の人事異動について
R2.3.17(火) (定例会)	議案第1号	令和2年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
	議案第2号	三豊市立学校の管理運営に関する規則の一部改正について
	議案第3号	三豊市立小・中学校通学用ヘルメット購入補助金交付要綱の廃止について
	議案第4号	三豊市文化芸術振興計画策定委員会設置要綱(案)について
	議案第5号	三豊市公民館長・主事の任命について
	議案第6号	組織改正に伴う教育委員会規則等一括改正について

○平成31年度・令和元年度 教育委員会報告等一覧

開催日時	報告番号	報告事項
H31.4.24(水) (定例会)	報告事項1	平成31年度学力調査について
	報告事項2	平成31年度学校訪問について
	報告事項3	生徒指導・職員事故等の報告について
	報告事項4	平成31年度運動会について
	報告事項5	平成31年度スポーツ振興課事業概要について
	報告事項6	三豊市・洞爺湖町友好都市少年交流事業「ふるさと・ふれあいフレンドリーツアー」の募集について
	報告事項7	公民館の活動について
	報告事項8	平成30年度少年育成センターの活動報告について
H31.5.20(金) (定例会)	報告事項1	平成31年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
	報告事項2	三観地区教職員県外合同視察研修について
	報告事項3	生徒指導・職員事故等の報告について
	報告事項4	公民館活動について ・6月の活動報告 ・4月に行われた代表的な取組事業紹介
R1.6.28(金) (定例会)	報告事項1	令和元年第2回三豊市議会定例会について
	報告事項2	生徒指導・職員事故等の報告について
	報告事項3	教科書採択について
	報告事項4	三観地区教職員県外合同視察研修参加者について
	報告事項5	「映画制作スクール」について
	報告事項6	カマタマーレ讃岐サッカークリニックについて
	報告事項7	「使える英会話」講座の現況について
	報告事項8	三豊市・洞爺湖町友好都市少年交流事業「ふるさと・ふれあいフレンドリーツアー」の現況について
	報告事項9	紫雲山遺跡国指定について
	報告事項10	令和元年度第1回三豊市おはなし会研修講座について
	報告事項11	公民館活動について ・7月の各地区公民館活動報告 ・5月に行われた代表的な取組事業紹介
	報告事項12	財産の取得について(三豊市学校ICT機器 電子黒板・プリンター等)
	報告事項13	財産の取得について(三豊市学校ICT機器 無線アクセスポイント等)
R1.7.23(火) (定例会)	報告事項1	幼児教育・保育の無償化に伴う3歳児～5歳児の給食費無料化について
	報告事項2	生徒指導・職員事故等の報告について
	報告事項3	県費職員の矯正措置について
	報告事項4	令和元年度第1回三豊市いじめ問題対策連絡協議会開催について
	報告事項5	小中学校夏季休業中の事業について
	報告事項6	「桃田賢斗選手」後援会について
	報告事項7	みとよロボコン2019について
	報告事項8	市内図書館開館時間延長の試験的運用について
	報告事項9	図書館システム更新プロポーザル審査委員会進捗状況について
	報告事項10	公民館の活動について ・8月の各地区公民館活動報告 ・6月に行われた代表的な取組事業紹介

開催日時	報告番号	報告事項
R1.8.29(木) (定例会)	報告事項1	令和元年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
	報告事項2	学校訪問の日程について
	報告事項3	運動会の日程について
	報告事項4	「桃田賢斗選手」香川県後援会設立総会について
	報告事項5	財田B&G臨時職員の逮捕について
	報告事項6	緑ヶ丘サッカー場器物破損被疑者の逮捕について
	報告事項7	図書館システム更新に伴うプロポーザル審査結果について
	報告事項8	公民館の活動について
R1.9.30(月) (定例会)	報告事項1	生徒指導・職員事故等の報告について
	報告事項2	全国学力・学習状況調査について
	報告事項3	みとよ・未来・ヤング・サミットについて
	報告事項4	海外派遣・映画制作スクール報告会について
	報告事項5	令和元年度ふるさと・ふれあいフレンドリーツアー(受入・訪問)について
	報告事項6	三豊市文化会館への詫間庁舎等機能の一時移転について
	報告事項7	市内図書館開館時間延長結果について
	報告事項8	みとよロボコン2019について
	報告事項9	令和2年成人式について
	報告事項10	三豊市公民館運営審議会について
	報告事項11	三豊市社会教育委員会について
	報告事項12	公民館の活動について ・10月の各地区公民館活動報告 ・7・8月に行われた代表的な取組事業紹介
	報告事項13	山本町公民館財田大野分館について
	報告事項14	三豊市スポーツ・文化芸術大会出場激励金の補正について
	報告事項15	財産の取得について
	報告事項16	三豊市授業・学習支援システム等構築・運用業務のプロポーザルの実施について
R1.10.25(金) (定例会)	報告事項1	令和元年第3回三豊市議会定例会について
	報告事項2	令和2年度三豊市立幼稚園における長期休業中の給食提供体制について
	報告事項3	令和2年度三豊市立幼稚園の3歳児預かり保育について
	報告事項4	生徒指導・職員事故等の報告について
	報告事項5	文化財保護審議会の開催について
	報告事項6	三豊市おはなし会研修講座開催について
	報告事項7	公民館活動について ・11月の各地区公民館活動報告 ・9月に行われた代表的な取組事業紹介
R1.11.26(火) (定例会)	報告事項1	生徒指導・職員事故等の報告について
	報告事項2	学校訪問を終えて
	報告事項3	スポーツ振興課事業の進捗状況について
	報告事項4	公共施設使用料統一に伴う関係条例の整備に関する条例について
	報告事項5	文化財保護審議会の協議結果について
	報告事項6	三野町図書館移転について



開催日時	報告番号	報告事項
R1.12.23(月) (定例会)	報告事項1	令和元年第4回三豊市議会定例会について
	報告事項2	令和元年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
	報告事項3	生徒指導・職員事故等の報告について
	報告事項4	令和2年4月三豊市公立学校職員人事異動基本方針について
	報告事項5	「桃田賢斗選手」香川県後援会の会員募集について
	報告事項6	令和元年度三豊市おはなし会研修講座について
	報告事項7	第1回三豊市県展入賞及び入選作品展覧会について
	報告事項8	令和2年三豊市成人式について
	報告事項9	図書館職員向け講演会の開催について
	報告事項10	図書館基本計画に基づく点検結果について
	報告事項11	三野町図書館移転について(進捗状況)
	報告事項12	三野町公民館下高瀬分館の機能移転について
	報告事項13	「使える英会話」講座結果報告について
	報告事項14	公民館活動について ・1月の各地区公民館活動報告 ・10・11月に行われた代表的な取組事業紹介
R2.1.30(木) (定例会)	報告事項1	生徒指導・職員事故等の報告について
	報告事項2	香川県学習状況調査の結果について
	報告事項3	三豊市スポーツ推進計画(案)について
	報告事項4	三野町図書館移転について(進捗状況報告)
	報告事項5	成人式について
	報告事項6	公民館活動について ・2月の各地区公民館活動報告 ・12月に行われた代表的な取組事業紹介
R2.2.21(金) (定例会)	報告事項1	生徒指導・職員事故等の報告について
	報告事項2	令和元年度卒業式・令和2年度入学式について
	報告事項3	三野町図書館の移転について(進捗状況報告)
	報告事項4	図書館システムの更新について
	報告事項5	三豊市文化芸術振興計画の策定に向けて
	報告事項6	第3回図書館協議会点検結果について
	報告事項7	第3期三豊市生涯学習推進計画の策定について
	報告事項8	公民館の活動について
R2.3.17(火) (定例会)	報告事項1	三豊市学校給食検討委員会設置条例の一部改正について
	報告事項2	令和元年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
	報告事項3	生徒指導・職員事故等の報告について
	報告事項4	学習の診断について
	報告事項5	教育センターの活動報告について
	報告事項6	三豊市スポーツ推進計画について
	報告事項7	第3期三豊市生涯学習推進計画の設置要綱(案)について
	報告事項8	文化財保護審議会の協議結果について
	報告事項9	令和2年度図書館職員の配置について
	報告事項10	公民館活動について ・2月に行われた代表的な取組事業紹介
	報告事項11	三豊市教育方針について

### (3)教育委員会活動の概要

#### ① 保育所・幼稚園・小学校・中学校指導訪問

実施日程	令和元年6月3日 ～ 令和元年11月22日
参加者	教育長、教育委員4名、主任指導主事3名、事務局
訪問先	保育所5所、幼稚園9園、小学校19校、中学校6校
訪問内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・幼稚園・保育所経営説明</li> <li>・給食指導</li> <li>・全体指導</li> <li>・講評</li> <li>・保育・授業参観</li> <li>・個別指導</li> <li>・諸帳簿検査</li> </ul>

学校指導訪問日程(学校の生徒数・クラス数・教員数に応じて、1日及び半日を決めています)

月	日	曜日	学校名	日程	教育委員	指導主事・事務局
6	3	月	和光中学校	午前	細川委員	主任指導主事2名、事務局3名
			勝間小学校	午後	細川委員	主任指導主事2名、事務局3名
	5	水	比地小学校	午前	細川委員	主任指導主事2名、事務局3名
			曾保小学校	午後	細川委員	主任指導主事2名、事務局3名
	12	水	豊中中学校	午前	堤委員	主任指導主事2名、事務局3名
			二ノ宮小学校	午後	堤委員	主任指導主事2名、事務局3名
	13	木	辻幼稚園	午前	細川委員	主任指導主事1名、事務局1名 (保育幼稚園課2名)
	18	火	詫間幼稚園	午前	則久委員	主任指導主事1名、事務局1名 (保育幼稚園課2名)
	21	金	笠田小学校	午前	山崎委員	主任指導主事2名、事務局3名
	25	火	桑山小学校	午後	則久委員	主任指導主事2名、事務局3名
26	水	山本小学校	一日	細川委員	主任指導主事2名、事務局3名	
7	3	水	財田幼稚園	午前	則久委員	主任指導主事1名、事務局1名 (保育幼稚園課2名)
	10	水	下高瀬幼稚園	午前	堤委員	主任指導主事1名、事務局1名 (保育幼稚園課2名)
	17	水	財田保育所	午前	細川委員	主任指導主事1名 (保育幼稚園課4名)
	23	火	山本保育所	午前	堤委員	主任指導主事1名 (保育幼稚園課4名)

月	日	曜日	学校名	日程	教育委員	指導主事・事務局
8	2	金	豊中保育所	午前	山崎委員	主任指導主事1名 (保育幼稚園課4名)
9	5	木	大野幼稚園	午前	山崎委員	主任指導主事1名、事務局1名 (保育幼稚園課2名)
	10	火	本山小学校	午後	細川委員	主任指導主事2名、事務局3名
	12	木	吉津幼稚園	午前	細川委員	主任指導主事1名、事務局1名 (保育幼稚園課2名)
	13	金	麻小学校	午前	堤委員	主任指導主事2名、事務局3名
			上高野小学校	午後	堤委員	主任指導主事2名、事務局3名
	18	水	仁尾中学校	午前	則久委員 堤委員	主任指導主事2名、事務局3名
	19	木	詫間中学校	一日	堤委員	主任指導主事2名、事務局3名
	20	金	三野津中学校	午前	山崎委員	主任指導主事2名、事務局3名
25	水	財田小学校	午前	則久委員	主任指導主事2名、事務局3名	
10	1	火	高瀬中学校	一日	則久委員	主任指導主事2名、事務局3名
	2	水	比地二幼稚園	午前	堤委員	主任指導主事1名、事務局1名 (保育幼稚園課2名)
	4	金	勝間幼稚園	午前	則久委員	主任指導主事1名、事務局1名 (保育幼稚園課2名)
	8	火	二ノ宮幼稚園	午前	細川委員	主任指導主事1名、事務局1名 (保育幼稚園課2名)
	9	水	仁尾小学校	午前	堤委員	主任指導主事2名、事務局3名
	16	水	上高瀬小学校	午前	山崎委員	主任指導主事2名、事務局3名
	24	木	高瀬中央保育所	午前	則久委員	主任指導主事1名 (保育幼稚園課4名)
	29	火	吉津小学校	午前	細川委員	主任指導主事2名、事務局3名
			下高瀬小学校	午後	細川委員	主任指導主事2名、事務局3名
	30	水	須田保育所	午前	堤委員	主任指導主事1名 (保育幼稚園課4名)
11	11	月	詫間小学校	一日	則久委員	主任指導主事2名、事務局3名
	15	金	比地大小学校	午前	山崎委員	主任指導主事2名、事務局3名
	22	金	松崎小学校	午前	山崎委員	主任指導主事2名、事務局3名
			大見小学校	午後	山崎委員	主任指導主事2名、事務局3名

#### (4) 教育委員会に関わるその他の主な活動

##### ① 三豊市総合教育会議

- < 第1回 > 危機管理センター202会議室  
実施日程 令和元年8月29日(木) 午後3時00分～午後5時00分  
参加者 市長、教育長、教育委員4名  
政策部 部長、地域戦略課長他 2名  
教育委員会 部長、教育総務課長、学校教育課長、スポーツ振興課長補佐  
協議内容 ○ 三豊市教育大綱の策定について  
○ あらゆる学びの場の提供について  
○ 三豊市子ども未来応援ネットワーク(仮称)の構築について  
○ その他
- < 第2回 > 危機管理センター202会議室  
実施日程 令和元年11月26日(火) 午後3時00分～午後5時00分  
市長、教育長、教育委員4名  
政策部 部長、地域戦略課長他 2名  
教育委員会 部長、教育総務課長、学校給食課長、生涯学習課長、  
スポーツ振興課長、学校教育課 主任指導主事2名  
協議内容 ○ 三豊市教育大綱(素案)について  
○ その他
- < 第3回 > 危機管理センター301会議室  
実施日程 令和元年12月23日(月) 午後1時00分～午後2時15分  
市長、教育長、教育委員4名  
政策部 部長、地域戦略課長他 2名  
教育委員会 部長、教育総務課長、学校教育課長、学校給食課長、  
生涯学習課長、スポーツ振興課長、人権教育課長  
協議内容 ○ 三豊市教育大綱(案)について  
○ パブリックコメント(意見公募)の実施について  
○ その他
- < 第4回 > 危機管理センター202会議室  
実施日程 令和2年2月21日(金) 午後3時25分～午後4時10分  
市長、教育長、教育委員4名  
政策部 部長、地域戦略課長他 2名  
教育委員会 部長、教育総務課長、学校教育課長、学校給食課長、  
生涯学習課長、スポーツ振興課長、人権教育課長補佐  
協議内容 ○ パブリックコメント(意見公募)の結果について  
○ 三豊市教育大綱について  
○ その他

②教育委員が出席した主な活動等

月	各種行事・大会等	
	三豊市関係	国・県関係
4	小・中学校教職員合同赴任式 幼稚園入園式、小・中学校入学式	
5	幼・小・中学校運動会 三豊市教育協議会 三観地区市教委連絡協議会春季総会	香川縣市町教育委員会連絡協議会定期総会
8		市町教育行政意見交換会
9	幼・小・中学校運動会	
10		香川縣市町教育委員会連絡協議会委員研修会
11	三観地区市教育委員会連絡協議会視察研	
1	成人式 三観地区市教育委員会連絡協議会総会	
3	小・中学校卒業式	

### 3 具体的な推進施策の取組状況評価

#### (1) 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、本市教育の総合的な指針である「三豊市教育方針」に基づく平成31年度・令和元年度の重点課題の項目としています。

#### ○ 評価項目の一覧

1 乳幼児期の教育方針	① 信頼される保育所・幼稚園
	② 保育所・幼稚園における保育・教育の充実
	③ 子育て支援の充実
	④ 子どもの成長を支える連携
2 小学校の教育方針	① 信頼される小学校
	② 確かな学力の向上
	③ 豊かな心の育成
	④ 健やかな体の育成
	⑤ 社会の変化に対応する力の育成
3 中学校の教育方針	① 信頼される中学校
	② 確かな学力の向上
	③ 豊かな心の育成
	④ 健やかな体の育成
	⑤ 社会の変化に対応する力の育成
4 学校等施設整備の推進	① 子どもたちが安全な学校施設で、安心して学ぶことができる教育施設等の整備
5 学校再編整備の推進	① 適正規模・適正配置の基本的考え方に基づく再編整備
6 生涯学習の方針	① 生涯学習推進の環境づくり
	② 家庭教育力の向上
	③ 文化・芸術活動の促進
	④ 文化財の保護・継承
	⑤ 学習成果を地域に還元する仕組み
7 青少年の健全育成	① 青少年教育の充実
8 スポーツ振興の方針	① スポーツの振興
	② スポーツ施設の充実
	③ アスリートの育成支援
9 人権教育の推進	① 学校人権教育の推進
	② 社会人権教育の推進
10 学校給食の方針	① 三豊の幸の豊かさを大切にする安全・安心な学校給食

## (2) 点検・評価の方法

点検・評価にあたっては、まず主管課において、重点課題に対して実施した事業ごとに点検・評価を行い、それを受けて教育委員会は、各主管課の評価をもとに重点課題の項目ごとに総合的に評価を行いました。

また点検・評価にあたっては、教育に関して学識経験等を有する方の協力を得て、点検・評価委員会を開催・意見聴取しました。第1回開催後は、新型コロナウイルス感染拡大の観点から、書面で意見集約するやりとりに切り替えて書面開催とし、意見や助言を得ました。

助言等をいただいた方は、次のとおりです。

(敬称略)

氏名	所属
岡田 知也	香川大学教育学部教授・元副学部長
小林 千芳	元学校長
田井 秀典	元学校長
細川 ひとみ	主任児童委員代表
村治 久美子	三豊市PTA連絡協議会代表(H31年度)

## (3) 点検・評価委員会開催日及び協議事項

開催日	出席者	協議事項
第1回 R2.2.27 (木)	点検・評価員 教育長・教育部長 教育委員会事務局 関係各課長ほか	<ul style="list-style-type: none"><li>教育委員会の事務事業の点検・評価の概要について</li><li>平成31年度三豊市教育方針について説明</li><li>令和2年度三豊市教育委員会点検・評価のスケジュールについて</li></ul>
R2.5～7月 ※書面会議	※文書による情報提供、 意見照会・集約	<ul style="list-style-type: none"><li>令和2年度三豊市教育委員会点検・評価表について</li><li>令和2年度三豊市教育委員会点検・評価報告書(案)について</li><li>令和2年度三豊市教育方針について</li></ul>
R2.7～8月 ※書面会議		<ul style="list-style-type: none"><li>令和2年度三豊市教育委員会点検・評価報告書(案)について</li></ul>

#### (4) 点検・評価結果の構成

##### ① 評価対象

「平成31年度三豊市教育方針」の9つの基本方針、重点課題ごとに点検・評価を行っています。

##### ② 具体的な取組内容及び実施した事業内容

各重点課題の目標達成に向けて、主に取り組んだ事業内容等を示しています。

##### ③ ◎○得られた成果 ●課題と今後の取組

事業を実施したことによって得られた成果及び課題等を示しています。

※ ◎特に成果があった項目

##### ④ 内部評価

計画目標に対し、取組の進捗状況等を踏まえ、外部の方々からの意見を参考にしながら、客観的にS～Dの5段階評価を行っています。

(評価判断基準)

S …… 十分な成果を得た

A …… ほぼ成果を得た

B …… ある程度の成果を得たが、多少の改善検討が必要

C …… 満足のいく成果が得られず、事業の見直しが必要

D …… 中止、廃止

##### ⑤ 担当課

事業を実施した担当課の名称を示しています。

#### (5) 点検・評価結果の年度比較

	2年度		元年度		30年度		29年度		28年度		27年度	
	評価数	(増減)	評価数	(増減)	評価数	(増減)	評価数	(増減)	評価数	(増減)	評価数	(増減)
S(A)	0	△1	1	0	1	0	1	△1	2	2	0	△1
A(B)	56	3	53	△7	60	△2	62	0	62	1	61	2
B(C)	17	1	16	7	9	2	7	△8	15	0	15	△1
C(D)	0	0	0	0	0	0	0	△1	1	1	0	0
D(E)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
評価数 合計	73	3	70	0	70	0	70	△10	80	4	76	0



(6) 総合評価

点検・評価委員会の全体評価と項目別評価

総合評価	所 見
(全体評価)	<p>「三豊市教育方針」に基づき、教育委員会の多様な業務内容を112項目に分けて自己点検したものを数値化し、さらに数値を5段階で表し73項目にまとめた。結果を見ると、達成状況は「ほぼ成果を得た」(A評価)が76.7%であり、良好な結果であるといえる。これは関係職員が、同方針に基づき着実に努力を重ねてきた成果であるといえる。研究を要する内容や新設された分野等においてB評価が散見されるが、課題が明確化されており、今後の解決への期待がもてる。時代の変化や地域の実情に配慮しながら本点検・評価報告を踏まえ、意欲的に取り組んでいただきたい。</p> <p>現在、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながらの業務執行が求められている。今後の取組内容や課題については、慎重に検討し取り組んでいただきたい。</p>
① 乳幼児期の 教育方針	<p>各項目の具体的な取組内容について、地域の人や自然等の環境を取り入れた特色を活かし、さらには子どもの発達や家庭環境、社会の変化にあわせた保育の工夫がなされ、心身の成長につながっている。園での生活や保育の様子を機会あるごとに具体的に知らせるなど家庭との連携をさらに強いものとして、子ども達の成長を支えていただきたい。</p>
② 小学校の 教育方針	<p>確かな学力の向上については、さまざまな指導の工夫・改善が継続的に実践されている。地域の多様な人材を活用した特色ある有意義な教育活動ができており、成果を上げている。今後も保護者や地域と連携して地域のよさを活かした学習・学力向上にむけて研修を積むとともに実践を継続していただきたい。</p>
③ 中学校の 教育方針	<p>学習形態を工夫した授業等への取り組みにより、教科の基礎・基本が定着してきている。教職員が、生徒との積極的な関わりを大切にすることで信頼関係が構築されている。道徳の教科化に対応し、年間計画の見直しや教材研究に力を注ぐなどして、道徳の授業の充実が図られている。英語教育は、小中一貫した教育の中でこれまで以上の成果を期待したい。今後さらにICT機器の活用が求められるようになると考えられる。また、特別な支援を要する生徒が増加傾向にある。その指導に当たっては、専門的な研修を深めるとともに、個別の事例に応じた粘り強い対応を大切にして取り組んでいただきたい。</p>
④ 学校等施設 整備の推進	<p>限られた予算を有効に使う、施設の維持管理が着実に実践でき、安全が守られている。トイレの洋式化についても、子どもの実態にあったよりよい教育環境が整いつつある。今後も定期点検を確実に実施し、問題箇所について速やかに対応することで、安全な教育施設を維持していただきたい。</p>
⑤ 学校再編 整備の推進	<p>令和2年4月に山本地区の幼稚園が開園する等、計画に基づいて再編整備が進められている。今後は子ども達や保護者、職員、地域の皆さん等の思いを十分配慮し、課題や不安の解決に努めていただきたい。</p>
⑥ 生涯学習 の方針	<p>多くの事業で市民への啓発やサポート、交流などに積極的に取り組んでいる。その評価も丁寧に行われており、より一層の改善・充実が期待できる。今後は、廃校園になった地域(旧小学校区)における地域住民の交流の場をどう創り上げていくかが、公民館活動の一つとして重要な課題となる。</p> <p>新型コロナウイルスの影響で、各種の生涯学習、ボランティア活動などが中止、延期、縮小などの状況に陥っている。地域に根付いている諸活動がコロナ終息後に再び活性化するように、有効な支援の在り方を検討していただきたい。</p>
⑦ 青少年の 健全育成	<p>少年育成センターの補導、安全・安心パトロール隊や子ども見守り隊等、多くの市民ボランティアの協力により、みんなで三豊市の子どもを見守り育てる活動が伝統的に定着しており、不審者情報件数が減少するなど安全が守られている。メール配信会員の増員が進み、時代に即した危機意識が高まっている。問題を持つ子ども達の保護者等が、気軽に相談できる機会を拡充することを検討していただきたい。</p>
⑧ スポーツ 振興の方針	<p>スポーツ振興課の新設に伴い、市にカマタマーレ讃岐の練習施設が設置されるなど、意欲的な事業が推進されている。今後、課題も出てくると思われるが、継続的な取組による成果を期待したい。</p>
⑨ 人権教育 の推進	<p>学校人権教育は、幼児から児童・生徒までの発達段階に応じた市販教材集(紙芝居・教材集)をもとに10年以上にわたって実践を積み重ね、人権意識の高揚について成果を上げている。社会の変化に伴って、ネット上の誹謗中傷事件が起こるなど、新しい形での差別事象の広がりが懸念されている。時代の要請に応えられる、新たな視点の人権教育の構築に、学校関係者を始め、行政や地域、企業等においても意欲的に取り組んでいくことを期待したい。</p>
⑩ 学校給食 の方針	<p>南部学校給食センターは市の要求する基準を満たし、ひいては国の衛生管理の基準を満たした上で適切に運用され、安全性が確保された給食が提供されている。今後とも「食育の重要性」を基本に、地産地消や温かくておいしい給食、地域や子どもの実態に合った、特色ある給食運営計画を進めていただきたい。加えて、増加傾向にある特別食等についても検証していただきたい。北部学校給食センターについては整備内容の検討段階であるが、南部学校給食センターの経験を活かし、よりよい施設となることを期待する。</p>

① 乳幼児期の教育方針

担当課:学校教育課

基本方針	心身ともに健やかに成長するための保育・教育の推進
------	--------------------------

重点課題 1 信頼される保育所・幼稚園

具体的な取組内容(教育方針)	得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
<b>(1) 信頼される保育士・教師</b>		
○保育者は、子どもが安心して保育所・幼稚園生活を送れるように、笑顔で遊びや生活を支えながら楽しい保育に努める。	○一人ひとりに寄り添う保育を心がけたことで、保育者に見守られている安心感を基盤に、自らやってみようとする姿が見られるようになった。  ●職員間で連携を図り、遊びや園生活が充実できる環境づくりの工夫に努める。	A
実施した事業の内容		
・幼児の内面理解と傾聴の姿勢を大切にした保育者の関わり。 ・遊びが楽しい、またやってみたいと思う環境づくり。		
<b>(2) 安全・安心な保育所・幼稚園</b>		
○「防災計画」を見直し、月1回の避難訓練や施設・遊具等の安全点検を行うとともに、隣接している小・中学校や地域との連携を図りながら計画的に防災訓練を行い、職員の危機管理意識を高める。	◎毎月、様々な場面を想定した訓練を実施することで、子どもたちや職員の危機管理意識が高まり、迅速な行動ができるようになった。  ○地域や小学校と合同の避難訓練を実施し、マニュアル等の見直しを図ることができた。  ●避難訓練を継続するとともに、想定外の緊急時に最善の対応ができるように、職員研修の充実を図る。	A
実施した事業の内容		
・園や地域の実態に応じた計画的な避難訓練や安全点検の実施と見直し。 ・地域や小学校等と連携した防災訓練の実施。		
<b>(3) 開かれた保育所・幼稚園</b>		
○保護者や地域の人の保育所・幼稚園運営への理解と協力を得るために、自己評価・園所関係者評価を行い、具体的な保育実践内容や成果等を積極的に公開する。	○アンケート等による外部評価を実施することで、保護者や地域の考えや要望を把握することができ、保育の改善に繋がった。  ○保育で大切にしたいことや子どもの成長を写真などで分かりやすく伝えることで、理解を得ることができた。  ●保育内容や子どもの育ちについて、より理解が深まるように、発信の方法や評価内容について検討していく。	A
実施した事業の内容		
・保護者や関係者へのアンケート実施と公開。 ・保育のねらいや内容、子どもの育ちをお便り等で、分かりやすく発信。		

(4)	特色ある保育所・幼稚園	
	○それぞれの園や保育所で育てたい力を明確にし、環境や人材など特色を活かした保育・教育課程を工夫する。	○地域の自然や人との関わりを保育に活かせるように工夫したことで、子どもたち・保護者・職員ともに親しみや感謝の気持ちが育まれてきている。  ●子どもたちの活動や地域の実態を考慮し、よりよい交流を行えるように、行事の内容や方法を見直していく。
	実施した事業の内容	
	・地域の資源や人材の積極的な活用と園・所外保育の充実。 ・その時期ならではの直接体験や異年齢活動を活かした教育課程の編成。	

A

## 重点課題 2 保育所・幼稚園における保育・教育の充実

具体的な取組内容(教育方針)		得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
(1)	健康な心と体の育成		
	○健康で安全なよりよい生活を自ら求め、やってみようとする意欲を育てるために、子どもたちに十分な活動時間や環境を確保する。	○じっくり遊べる時間や空間を確保したことで、子どもたち自ら取り組む姿が多くみられるようになった。  ○発達に応じたチャレンジカード等を作成することで、個々に目標をもつことができ意欲につながった。  ●保育時間や環境など、これまであたりまえになっていることも、子どもたちの活動を考慮しながら見直していく。	A
	実施した事業の内容		
	・子どもたちが、やりたいことにじっくり取り組める時間と空間を確保。 ・子どもたちが身体を動かして遊ぶことを楽しめる環境の工夫。		
(2)	人と関わる力の育成		
	○子どもたちが、自分の言葉や身体でのびのびと表現したり、相手の話を聞いたりしながら、伝え合う喜びを感じられるように、一人ひとりの思いや考えを丁寧に受け止める。	○保育者が丁寧なやりとりを心がける中で、安心して表現することができるようになった。  ○地域のお年寄りや小・中学生等、いろいろな世代の人との温かい関わりの中で、自分なりに表現する喜びを感じるようになった。  ●保育者がゆとりをもち、一人ひとりの表現を丁寧に受け止め、内面理解に努める。	A
	実施した事業の内容		
	・子どもの表現を丁寧に受けとめる保育者の姿勢と、子ども同士が思いや考えを伝え合える場づくり。 ・異年齢児や地域の方等、多様な人と関わる場の工夫。		
(3)	創造する力の育成		
	○遊びの中で自分の力でやり遂げる満足感や充実感を味わえるように、試したり工夫したりする環境を子どもと共に創っていく。	○主体的に遊ぶ時間を確保していくことで、友達同士で協力したり共通の目的をもって遊びを進めていく姿が見られるようになった。  ○可塑性に富む素材を利用することで、試したり作り替えたりする姿が見られた。  ●子どもたちの遊びを充実していくために、保育者同士の研修や教材研究を深めていく。	A
	実施した事業の内容		
	・子ども自らが主体的に遊ぶ時間や場の確保。 ・年齢に応じた試行錯誤できる環境の工夫。		

(4)	個に応じた保育・教育の推進	
○一人ひとりの育ちを理解し、適切な援助や指導を実践するために、保育計画や記録を基に全職員が協力して、実行・改善していける体制づくりを行う。	◎継続した研修を通して、一人ひとりの育ちを多面的に捉えることができ、幼児理解につながった。	A
実施した事業の内容	○日々語り合える雰囲気ができ、子どもの育ちを探ろうとする職員間の同僚性が高まった。	
・保育記録やカンファレンスシートを活用した園内研修の工夫。 ・気になる子どもについて、職員間で共有し全職員で支援する体制づくり。	●外部講師や関係機関を交えての研修等、課題や目的に応じて、幅広い研修の機会をもつようにする。	

### 重点課題 3 子育て支援の充実

具体的な取組内容(教育方針)		得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
(1)	子育てのための環境づくり		
○保護者が子どもと向き合いふれあう大切さを感じることができるように、読み聞かせや手伝いなど、家庭で一緒にできることを推進していく。	◎家庭と共に生活習慣を見直したり、絵本やふれあい活動を通して親子の関わりを深めることができた。	A	
実施した事業の内容	○生活チェック表などの活用により、園と家庭が同じ目標をもって取り組むことができた。		
・保護者の読み聞かせや親子クッキングなど親子で楽しめる活動を推進。 ・基本的な生活習慣を親子で一緒に身に付けていけるように、生活チェック表を活用。	●家庭環境を把握し、負担感を感じないように個々に応じた保護者啓発を行っていく。		
○乳幼児のメディア利用の危険性を知り、家庭での使い方を考えられるように啓発していく。	○メディア利用の危険性について、保護者同士が話し合う機会をもつことで、啓発の場となった。	A	
実施した事業の内容	○ノーメディアデーを継続して行うことで、子どもたちにも意識がついてきている。		
・毎月ノーメディアデーの実施、継続。 ・講演会や保育参観、お便り等を通して、情報発信と啓発。	●ゲーム依存の危険性を啓発していくとともに、乳幼児期の親子のふれあいや直接体験の場の大切さを伝えていく。		

重点課題 4 子どもの成長を支える連携

具体的な取組内容(教育方針)		得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
(1)	<b>家庭や地域社会との連携</b>		
	○地域の人や自然を活かした交流を行う中で、保育所・幼稚園教育への理解を得ながら、地域の中での子育ての支援体制を築く。	◎地域の方と時間や内容を検討しながら実施することで互いに互惠性のある活動となった。	A
	実施した事業の内容	○保護者も一緒に参加することで、地域や園、保護者同士もつながるきっかけとなってきた。	
	・地域とのつながりを感じられる交流活動の工夫。 ・地域の自然や人材を活かした保育活動の実施。	●保護者や地域・園の実情やニーズを把握し、継続した交流ができるように工夫していく。	
(2)	<b>異校種間連携</b>		
	○「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を保育所・幼稚園で共有し、保育を通して具体的に小学校へ伝えることで、円滑な接続に向かうようにする。	○交流活動を通して、就学に向けて小学校への親しみや憧れの気持ちが育まれてきた。	B
	実施した事業の内容	○交流活動や参観等において、事前事後の話し合いを行うことで、職員間の連携が深まってきた。	
	・計画的・継続的な交流活動の実施と、子ども同士がしぜんに関われる場の工夫。 ・互いの授業や保育参観を通して、職員相互の連携を深める研修の実施。	●幼児期の育ちについて具体的に理解を得ながら、子どもたちが安心して就学を迎えることができるようにしていく。	
(3)	<b>子育て関係機関との連携</b>		
	○保護者が子育て関係機関を利用できるように情報提供を行うとともに、関係機関と連携しネットワークの強化を図る。	◎専門機関の指導を受けたことにより、適切な支援方法が分かり、子どもや保護者の安心感や変容につながった。	A
	実施した事業の内容	○保護者の相談に応じ、関係機関につなげたり、必要な情報を集めて伝えたりした。	
	・保護者が必要な情報を得られるように掲示やチラシ配布の仕方を工夫。 ・支援の必要な子どもや気になる子どもの巡回相談やケース会議を実施し、関係機関との連携を強化。	●今後も各機関と連携し支援体制を築いていき、一人ひとりの特性や家庭の状況に応じた支援を大切にしていく。	

## ② 小学校の教育方針

担当課:学校教育課

基本方針	「三豊市の誇り」と「生きる力」を身につける教育の推進
------	----------------------------

### 重点課題 1 信頼される小学校

	具体的な取組内容(教育方針)	得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
(1)	<b>信頼される教師</b>		
	○「子どもの声を聴き、進んで子どもとふれあう」ことの徹底のために、児童がいるところに笑顔の教師がいることを基本とし、子どものよさを見つけて「ほめ」たり、児童の声を指導の切り口にしたりする。	◎全教職員で子どもたちを見守ることで、担任だけでは気付かなかった子どもの良さを発見したり、問題行動が起きたとき、チームでの早期対応に近づけたりすることができた。	A
	<p style="text-align: center;">実施した事業の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「必ず児童のそばにいる」共感的な関わりの励行。</li> <li>・SC・SSWを活用した教育相談の推進。</li> <li>・全教育活動での積極的な声かけや称賛。</li> <li>・全教職員での情報交換と共通理解。</li> </ul>	◎定期的な児童の情報交換の場だけでなく、日常的に情報共有ができています。  ●SC・SSWとの時間調整が難しいので、今後の活用方法等について検討していく。	
(2)	<b>安全・安心な学校</b>		
	○事故等を防止するために、「学校安全計画」「危機管理マニュアル」を作成・点検するとともに、施設設備の安全点検の徹底と日常指導や関係機関や地域と連携した実働的な避難訓練・防災教育を計画的に行う。	◎地域自主防災会と連携した防災訓練や保護者引き渡し訓練の実施により、児童・保護者の防災力が向上してきた。	A
	<p style="text-align: center;">実施した事業の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭や地域と連携した防災訓練の計画的な実施。</li> <li>・学校安全計画と危機管理マニュアルの見直し。</li> <li>・定期的な施設・通学路等の安全点検の実施。</li> </ul>	◎保護者による通学路の安全点検を実施したことで、保護者も通学路の危険箇所を再確認し子どもへの指導を行うことができた。  ●地域住民と連携した防災訓練や放課後や休業日を想定した避難訓練についても実施する必要がある。	
(3)	<b>開かれた学校</b>		
	○学校運営について、明確な目標を設定することで客観性を高めた自己評価に努め、その結果を有効活用するとともに、学校の取り組みについてHPや学校便りを通じて保護者や地域住民へ情報発信する。	◎学校だよりを定期的に発行し、HPにも公開することで、保護者以外にも学校の取り組み等について発信することができた。	A
	<p style="text-align: center;">実施した事業の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や地域の方等の意見を聞く場の設定。</li> <li>・学校評議員、保護者等による定期的な学校評価。</li> <li>・HPや学校だより等による情報発信。</li> <li>・PDCAサイクルによる改善。</li> </ul>	○評議員や地域、保護者の意見を参考にPDCAサイクルによる改善を図ることができた。  ●コミュニティースクールの導入に向けて、組織づくり等に取り組んでいく。	

(4)	特色ある学校		
	○地域の自然・人材・文化財等を積極的に活用するなど、創意工夫ある教育課程を編成して、保護者や地域住民との学校教育への連携を深める。	◎多様な地域人材を活用することで、各学年の学習の課題や児童の興味・関心に応じた有意義な活動が行えた。	A
	実施した事業の内容	○人材活用等において、地域とのパイプができていますので、担当が変わっても引き継ぐことができます。	
	・地域人材を活用した体験学習の推進。 ・地域の文化遺産や自然に触れる場の設定。 ・保護者や地域の方による読み聞かせ。	●地域ボランティア等の外部講師の高齢化に伴い、継続して指導してもらえるよう新しい人材を発掘できるように、より地域と連携を図っていく必要がある。	

## 重点課題 2 確かな学力の向上

具体的な取組内容(教育方針)		得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
(1)	児童主体の授業づくり		
	○「対話」と「自問自答」で考えを深める授業展開をする	◎自分や友達の意見を板書やノートで可視化することで、意見の同じところや違いが分かり、話し合いがスムーズになった。	A
	実施した事業の内容	○対話のもととなる自己決定を行う場を意図的に設けたうえで、それをもとに話し合い活動を仕組むことができた。	
	・話し合う内容の検討と精選。 ・効果的な交流の場の設定。 ・考えを吟味するノート指導。 ・自己の学びを振り返る場の設定。	●深い学びになるように、対話のさせ方や教師の支援のあり方等を工夫する。	
(2)	基礎・基本を定着させる教科学習		
	○児童の意識にそった学習課題と授業の終末に振り返りが連続する学習展開を図る。	◎教材や事柄に児童が主体的に関わり、そこから出た問いをつないで課題をつくっていくことを意識した授業づくりができた。	B
	実施した事業の内容	○学習の跡をノートや振り返りに残すことにより、単元を通して児童の意識がつながるようになった。	
	・子どもの「問い」を生かす学習課題の設定。 ・子どもの気づきを促す構造的な板書。 ・学びの軌跡が残るノート指導。 ・振り返りの視点の提示。	●教科の特性を生かした授業改善が不十分なので、教科の本質を教師が明確にしていく必要がある。	
	○読解力の向上に向けた母国語教育(国語)の充実を図る。	○「何を子どもたちに教えなければならないか」など、教師が共通の意識を持つことで教材研究が深まり、付けたい力を明確にした授業を行うことができた。	
	実施した事業の内容	○学校全体で毎月重点を絞って「学び方」の定着を目指すことができた。	
	・音読タイム、ドリルタイム等による基礎基本の定着。 ・音読や暗唱などの発表の場の設定。 ・付けたい力を明確にした授業研究の実践。	●読解力に関する教師の技量の向上を目指した研修を実施していく。	

(3)	学ぶ基礎を培う学習習慣づくり		
	○家庭と連携しながら「学習」と「読書」の充実を図る。	◎家庭学習の記録をすることを通して、学習の継続の大切さを意識させ、内容を指導して充実を図ることができた。	A
	実施した事業の内容	○学校図書館の整備がなされ図書も充実しているため、活用の意欲付けがされている。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「23が60運動」の推進と効果的な活用。</li> <li>・家庭学習の手引き等の配布による保護者啓発。</li> <li>・図書ボランティアや上級生による読み聞かせ。</li> <li>・目標達成者への称賛。</li> </ul>	●やらされる家庭学習から自ら課題を見つけ自主的に取り組む家庭学習の実施について検討する必要がある。	
(4)	個を大切に作る特別支援教育		
	○一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすための教育課程編成を行うとともに、組織的な支援体制を構築し、子どもに寄り添った支援や合理的配慮を充実させる。	◎支援員や交流学級担任等と連携することで、一人ひとりの実態を多面的につかむことができ、個に応じた声かけや支援ができた。	A
	実施した事業の内容	○医療機関からのアドバイスを保護者と学校が共有したり、SC、SSWと協議したりすることで、個別の対応を進めることができています。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員の共通理解のための情報共有の場の設定。</li> <li>・個の特性やニーズに合わせた支援や指導。</li> <li>・交流学級での授業の工夫。</li> </ul>	●発達や障害の問題だけでなく、家庭環境も大きく影響するため、一人ひとりに、より細やかな対応をしていく必要がある。	

### 重点課題 3 豊かな心の育成

具体的な取組内容(教育方針)		得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
(1)	問題行動の防止に向けた生徒指導		
	○一人ひとりが自分のよさを発揮し活躍する学級づくりや、それを共感的に受けとめ社会性が芽生えるような望ましい集団作りを工夫する(居場所づくり、絆づくり)。	◎高学年のリーダーを中心に、子ども達に活動を任せることで、自ら考えて行動することができるようになってきた。	A
	実施した事業の内容	◎学年の枠を越えた心の交流が見られ、全校児童の絆が深まっている。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いのよさを称賛し合う場の設定。</li> <li>・異学年交流活動の充実。</li> <li>・児童会活動や縦割班活動によるリーダー育成。</li> <li>・「一人一役」による自己有用感の醸成。</li> </ul>	●友だちのよさをを見つけることを通して、相手とうまく関わろうとする意識を高め、トラブルを回避したり、解決したりする能力を育成する。	
(2)	人権尊重社会の実現に向けた人権教育		
	○三豊市人権教育教材集を活用した授業実践や指導方法を工夫したり、異校種間や関係団体との交流研修会を積極的に行ったりする。	◎保護者や地域の方の思いを知り、人権・同和教育の進め方についての研修をよりいっそう深めることができた。	A
	実施した事業の内容	○教材集をすべての学級で活用するとともに、取り組みの成果や課題を学年団等で共有し、改善につなげることができた。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材集を活用した計画的な授業実践</li> <li>・保護者・地域への授業公開。</li> <li>・研修や研究の充実。</li> <li>・幼稚園との交流活動の実施。</li> </ul>	●人権・同和学习で学んだことを、日々の生活の中で生かし、児童の心の成長へと結び付けていく。	



(3)	豊かな心を培う道徳教育	
○道徳の年間計画を見直し、ねらいを踏まえた「考え、議論する道徳」の授業への転換に向けて、年間35時間の道徳の授業・評価を確実に実施する。	◎学年ごとの年間指導計画にそって指導することができた。	B
実施した事業の内容	○「ポートフォリオ・ノート」を全児童が使用することで、学校全体で共通実践ができています。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の実態や学校行事との関連を図った年間計画の作成。</li> <li>・ノートやポートフォリオによる心の変容の蓄積。</li> <li>・学年だより等による家庭との連携。</li> </ul>	●児童の変容について捉えづらいこともあり、その都度の評価にとどまることも多いため、評価方法の研修を充実させ、基準を明確にしていく。	
(4)	自主的・実践的な態度を培う特別活動	
○自己決定の機会を設定し評価することで、子どもの自己肯定感を育てる。	◎児童会活動が活性化し、自分たちで目標を決めて話し合ったり、活動したりすることができた。	A
実施した事業の内容	○異学年活動の内容や運営を見直して、児童主体の活動に転換することで、リーダーシップを発揮して、率先して取り組む児童が増加した。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童会や委員会主催の活動等の推進。</li> <li>・児童による異学年交流の運営。</li> <li>・全校チャレンジ目標の設定と取り組みの工夫。</li> </ul>	●児童の成長につながる目標を児童自身が設定できるように、支援を充実させていく。	
○プレゼンテーションや映像活動等を通して、自己の考えを聞き手にわかりやすく伝えるための表現力や発信力の育成を図る。	◎自分の考えを発表することに喜びを感じる児童が増え、全体的に自己有用感も高まっている。	
実施した事業の内容	○自分のことや学習の成果等を級友や保護者に伝える場を設定することで、聞き手を意識した表現力が身についてきた。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板、タブレットPC、教材提示装置等の積極的な活用。</li> <li>・朝の会等のスピーチの場の設定。</li> </ul>	●ICTを活用した発表やプレゼンテーションの指導ができるように、教員のスキルの向上が必要である	

重点課題 4 健やかな体の育成

具体的な取組内容(教育方針)	得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
(1)	豊かなスポーツライフの基礎を形成する学校体育	
○運動の楽しさや喜びを十分味わいながら、自ら課題を解決したり、人間関係を深めたりしていく中で、生涯にわたって運動に親しむ資質能力を育てる。	◎時機に合った運動を全校生が取り組み、運動のおもしろさや仲間とともに活動する楽しさを味わわせることができた。	A
実施した事業の内容	◎チャレンジシートやカードをもとに自分のめあてをもち、上級生等を手本としながら熱心に運動に楽しんで取り組むことができています。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標をもって取り組む体育活動の実施。</li> <li>・朝や昼の時間を利用した体力づくりの推進。</li> <li>・縦割りグループでの活動の実施。</li> <li>・オリンピック・パラリンピック教育推進事業</li> </ul>	●運動が苦手な生徒も体力の向上を目指して取り組める活動を工夫する必要がある。	

(2)	規則正しい生活習慣の確立	
	○家庭との連携を図りながら、「朝食」、「睡眠時間」及び「メディア利用」等の改善を図る。	◎睡眠とネット依存について学ぶ学校保健委員会の開催や児童会からの呼びかけ等により、児童や保護者の意識が高まった。  ○定期的な生活チェックを行うことが、児童だけでなく、保護者の意識向上にも役立っている。  ●休日や長期休暇に生活習慣が乱れる児童がいるので、メディア利用等家庭との連携を強化する必要がある。
	実施した事業の内容	
	・児童会を中心としたネット・ゲーム利用についての全校生への啓発活動。 ・定期的な生活習慣調査等の実施。 ・「保健だより」等を通じた家庭との連携。	A
(3)	望ましい食習慣を形成する学校給食	
	○食と健康の問題等について協議する学校保健委員会の開催や給食だよりの発行等、家庭や地域との連携強化を図る。	◎保護者が参加する機会をもつことで、学校給食についての理解を深めることができた。  ○給食時の栄養教諭による食育指導や、個人懇談時の小児生活習慣病予防の個別指導により児童や保護者の意識が高まった。  ●偏食・少食の児童の意識を高め、より良い食習慣を身につけるための指導方法を工夫する必要がある。
	実施した事業の内容	
	・栄養教諭と連携した計画的な食育指導や調理実習の実施。 ・給食だより、食育だより等による保護者啓発。 ・親子給食会の実施。 ・小児生活習慣病予防検診	A

## 重点課題 5 社会の変化に対応する力の育成

具体的な取組内容(教育方針)		得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
(1)	ICTの活用による情報活用能力の育成		
	○情報活用能力を育成するために、ICTを効果的に活用するとともに家庭や関係諸団体と連携しながら情報モラル教育の充実を図る。	◎授業にICT機器を活用することで、児童にとって分かりやすく、教師にとっても指導しやすいものとなった。  ○専門家の講演を聞いたり、ネットの正しい利用法を学習したりすることで、児童・保護者の意識を高めることができた。  ●教職員のスキルアップが不十分なので、プログラミング教育を中心とした研修を実施していく。	
	実施した事業の内容		
	・タブレット・電子黒板等の日常的利用を目指した環境整備。 ・ICT機器を積極的に活用した授業の推進。 ・プログラミング教育に向けた校内研修の実施。 ・児童・保護者対象の情報モラルに関する講演会の実施。	B	

(2)	国際化に対応する国際理解教育・外国語教育	
○小中の円滑な接続を図り、小学校3・4年生では外国語に慣れ親しむこと、5・6年生では「読む・書く・聞く・話す」のスキルを定着させること、中学校では4技能をバランスよく育成できるようにする。	◎ゲームやデジタル教材を活用した学習形態、ALTの有効活用、個別に丁寧に関われる指導体制により、児童は楽しんで英語学習に取り組んでいる。	
実施した事業の内容	○担任が中心となって、ALT・非常勤講師・中学校英語教諭と連携し、授業を運営することができた。	A
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALT、中学校英語教諭と学級担任によるTT授業の計画的な実施。</li> <li>・教員の指導力向上のための研修の実施。</li> <li>・外国の文化や言葉に親しむための発達段階に応じた体験活動の開発。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●英語の教科化に向けての研修の充実と、外国語教室等の環境整備を進めていく。</li> </ul>	
(3)	自然との共存に対応する環境教育	
○持続可能な社会の担い手を育成するために、教科や総合的な学習の時間、特別活動等を通して、環境教育学習に取り組むようにする。	◎関係機関と連携を図りながら、地域に密着した学習を行うことで、児童は日常生活と結び付けて環境の大切さについて考えることができた。	
実施した事業の内容	◎児童会を中心にリサイクル活動や地域の清掃活動に取り組むことができた。	A
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校園、学級園を利用したの栽培活動。</li> <li>・総合的な学習を中心とした自然体験活動。</li> <li>・施設の見学等による環境学習の実施。</li> <li>・地域の清掃活動やリサイクル活動の推進。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教科や総合的な学習の時間、特別活動等に関連させた計画的な実施、年間計画の見直しが必要である</li> </ul>	

### ③ 中学校の教育方針

担当課:学校教育課

基本方針	<b>「三豊市の誇り」と「生きる力」を身につける教育の推進</b>
------	-----------------------------------

#### 重点課題 1 信頼される中学校

	具体的な取組内容(教育方針)	得られた成果◎◎ 課題と今後の取組●	評価
(1)	<b>信頼される教師</b>		
	<p>○「子どもの声を聴き、進んで子どもとふれあう」ことの徹底のために、生徒がいるところに笑顔の教師がいることを基本とし、子どものよさを見つけて「ほめ」たり、生徒の声を指導の切り口にしたりする。</p>	<p>◎全職員が積極的に子どもたちと関わることで、生徒間の人間関係を把握し、トラブル等の早期発見につながった。</p> <p>○「先生は私の気持ちを分かってくれている」「先生によく話しかけている」と回答する生徒が増加した。</p> <p>●基本的生活習慣や規範意識の低い生徒、発達障害傾向がある生徒の指導のあり方について、さらにSC、SSW等の専門家を交えて学ぶ機会を増やす。</p>	A
	実施した事業の内容		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生徒が居るところに教師が居る」ことの徹底。</li> <li>・登下校指導や休み時間のふれあい活動の実践。</li> <li>・定期的な教育相談の実施。</li> <li>・生活記録等を活用した生徒理解。</li> </ul>		
(2)	<b>安全・安心な学校</b>		
	<p>○事故等を防止するために、「学校安全計画」「危機管理マニュアル」を作成・点検するとともに、施設設備の安全点検の徹底と日常指導や関係機関や地域と連携した実働的な避難訓練・防災教育を計画的に行う。</p>	<p>◎地域の防災会や消防団、危機管理課の協力を得て、助ける側としての訓練も実施できた。</p> <p>◎生徒が避難訓練に意欲的に取り組み、自分のことは自分で守るという意識を高めたり、地域を知る契機となったりした。</p> <p>○防災アドバイザーからの助言や関係機関との連携により、避難経路の策定や避難マニュアルの作成のための情報を得ることができた。</p> <p>●現実に「起こるかもしれない」という意識をもって、危機管理や訓練を行うように、教職員の意識をさらに高めていく必要がある。</p>	A
	実施した事業の内容		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理マニュアルの見直し。</li> <li>・校内安全体制の整備と確認。</li> <li>・校内安全点検の毎月実施。</li> <li>・主体的に行動できる避難訓練・防災訓練の工夫。</li> <li>・安全マップによる通学路等の危険箇所の確認。</li> </ul>		
(3)	<b>開かれた学校</b>		
	<p>○学校運営について、明確な目標を設定することで客観性を高めた自己評価に努め、その結果を有効活用するとともに、学校の取り組みについてHPや学校便りを通じて保護者や地域住民へ情報発信する。</p>	<p>◎生徒・保護者・教員の自己評価を数値化したり、学校関係者評価委員会の意見を取り入れたことによって、PDCAサイクルを活用した学校改善に努めることができた。</p> <p>○定期的な学校だよりの発行やHPの更新により、学校の様子などを保護者や地域に発信することができた。</p> <p>●保護者アンケートの結果をふまえた、さらなる取り組みが必要である。</p>	A
	実施した事業の内容		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重点目標の公表と学校評価委員会による評価。</li> <li>・HPや学校だより等による情報発信。</li> <li>・学期ごとの保護者アンケートの実施。</li> <li>・PDCAサイクルによる改善。</li> </ul>		

(4)	特色ある学校		
○地域の自然・人材・文化財等を積極的に活用するなど、創意工夫ある教育課程を編成して、保護者や地域住民との学校教育への連携を深める。		◎地域の自然や文化財を学習したり、伝統文化の継承に努めたりできた。	A
実施した事業の内容		○郷土の人から話を聞いたり、地域の事業所で職業体験をしたりするなどキャリア教育を系統的に進めることができた。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域貢献ボランティアの実施。</li> <li>・地域行事への積極的参加。</li> <li>・地域人材を生かしたキャリア教育。</li> </ul>		●他の教育活動における地域人材等の開発や活用をさらに進め、コミュニティ・スクールの実践に向けて保護者や地域との連携を計画的に進めていく必要がある。	

## 重点課題 2 確かな学力の向上

具体的な取組内容(教育方針)		得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
(1)	生徒主体の授業づくり		
○「対話」と「自問自答」で考えを深める授業展開をする		◎発言の機会があったり、級友が自分の意見を認めてくれたりすることで、生徒がより意欲的に学習に取り組むようになった。	A
実施した事業の内容		○学びを深めるための対話が成立するための条件を明確にし、そのような対話を取り入れた学習指導過程の在り方について研究できた。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・深い学びにつながる学習形態の工夫。</li> <li>・教科の枠を超えた話し合い活動の共通実践。</li> <li>・学びの振り返りの場の設定。</li> </ul>		●教師の学習理論の深まり、授業構築力、ファシリテーション能力の向上等に向けての校内研修等の充実が必要である。	
(2)	基礎・基本を定着させる教科学習		
○生徒の意識にそった学習課題と授業の終末に振り返りが連続する学習展開を図る。		○グループ学習によって、自分の考えを伝え、友人の反応によって自分の考えを練り直すような授業実践を目指した。	A
実施した事業の内容		○「一人ひとりが理解を深め、次の学習につながるような振り返り活動」という観点を、全教職員が行う公開授業での観点の1つとして取り組めた。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びの切実感のある学習課題の設定。</li> <li>・振り返りを意識するための指導案の改善。</li> </ul>		●互いに高め合えるグループ学習を組織したり、生徒の振り返りや意見から学習課題を設定したりするようにさらなる授業改善が必要である。	
○読解力の向上に向けた母国語教育(国語)の充実を図る。		○「学びを楽しむ」ということがどういうことかを教職員で共通理解し、授業改善に取り組んだ。	
実施した事業の内容		○教師の発問や学習課題を疑問型にして考えやすくするなど生徒の発言時間を多くする工夫ができた。	A
<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語活動を位置付けた授業改善。</li> <li>・「話す・聴く」指導の充実。</li> </ul>		●他教科及び教科外での取り組みの充実が必要である。	

(3)	学ぶ基礎を培う学習習慣づくり	
○家庭と連携しながら「学習」と「読書」の充実を図る。	○模範となる家庭学習ノートの内容の紹介により充実した取り組みができるようになった。	B
実施した事業の内容	○定期的な「図書だより」等の発行や委員会による本の紹介など読書を楽しむための取り組みにより、学校図書館の貸出冊数が増加するなど生徒の読書活動への関心が高まった。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・週末課題等の実施による家庭学習の定着。</li> <li>・朝読書の通年実施とボランティアによる読み聞かせの実施。</li> <li>・図書だより等による読書活動への啓発。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自分で課題を見つけて解決していくことができるように、図書室やメディアの有効な利用についての指導の充実を図る必要がある。</li> </ul>	
(4)	個を大切にす特別支援教育	
○一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすための教育課程編成を行うとともに、組織的な支援体制を構築し、子どもに寄り添った支援や合理的配慮を充実させる。	<p>◎特別支援教育コーディネーターを中心として、常に情報交換を密に行い、統一した指導を実践することができた。</p> <p>○ユニバーサルデザインを意識した授業環境や授業形態を実践したり、ケース会議等で事例を検証したりすることで個を理解し、個に寄り添う指導を行うことができた。</p>	A
実施した事業の内容		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援員と教員との連携による柔軟な支援体制の整備。</li> <li>・個の特性やニーズに応じた支援の実現。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●特別な支援を要する生徒が増加傾向にあるため、さらにSC、SSW等の専門家を交えて学ぶ機会を得て、生徒の実態把握を細かく行い、合理的配慮をさらに充実させる必要がある。</li> </ul>	

### 重点課題 3 豊かな心の育成

具体的な取組内容(教育方針)	得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
(1)	問題行動の防止に向けた生徒指導	
○一人ひとりが自分のよさを発揮し活躍する学級づくりや、それを共感的に受けとめ社会性が芽生えるような望ましい集団作りを工夫する(居場所づくり、絆づくり)。	◎構成的グループエンカウンターなどを通し、共感的人間関係を築くことで、互いを認め合える学級集団作りにつなげることができた。	A
実施した事業の内容	○学校行事を工夫することで、「私のクラスは、失敗しても認めてくれる」「自分は友だちや学級のために役立つことをしている」と感じる生徒が増加した。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会活動を軸としたリーダー育成。</li> <li>・生徒主導による学校行事の活性化。</li> <li>・学年団を母体とした集団づくり</li> <li>・一人一役による自己有用感の醸成。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●3年間を見通したリーダー育成の充実が必要である。</li> </ul>	

(2)	人権尊重社会の実現に向けた人権教育	
○三豊市人権教育教材集を活用した授業実践や指導方法を工夫したり、異校種間や関係団体との交流研修会を積極的に行ったりする。	◎異校種の研究授業を参観することで、人権・同和教育の系統性を意識した実践を行うことができた。	A
実施した事業の内容	○「なかまづくり」を充実させたことにより、お互いを認め合うことができる生徒が増えた。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>教材集を活用した授業の計画的実施。</li> <li>公開授業の実施や外部講師を招いての人権学習。</li> <li>異校種間の連携や校内研修の充実。</li> </ul>	●本音で語り合える授業の充実と全職員の関係機関との交流を継続する。	
(3)	豊かな心を培う道徳教育	
○道徳の年間計画を見直し、ねらいを踏まえた「考え、議論する道徳」の授業への転換に向けて、年間35時間の道徳の授業・評価を確実に実施する。	◎教室での学習から、実際の体験活動へと展開し、実践力や意欲の向上が図れた。	A
実施した事業の内容	◎学年団ごとに指導案の作成や新教材の研究を行ったうえで毎週確実に授業を実施しているため、教員の指導力向上にもつながっている。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>行事を核とした年間指導計画の作成と実践。</li> <li>指導及び評価研究の校内研修の充実。</li> <li>TTやローテーション等を活用した全教員による授業実践。</li> </ul>	●評価について、教員間の更なる共通理解が必要である。	
(4)	自主的・実践的な態度を培う特別活動	
○自己決定の機会を設定し評価することで、子どもの自己肯定感を育てる。	◎生徒が自ら持ち込んだ企画を成功させたことで、その後の生徒会活動が活性化した。	A
実施した事業の内容	○教職員、生徒が共に目標を達成しようとする意識の共有ができてきた。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会役員や常任委員等による主体的・実践的な活動の充実。</li> <li>生徒主体のプロジェクト活動の実施。</li> <li>学級活動の充実と計画的な実践。</li> </ul>	●一部の生徒が積極的に取り組んでいるが、全校生に広がるためには継続的な取り組みが必要である。	
○プレゼンテーションや映像活動等を通して、自己の考えを聞き手にわかりやすく伝えるための表現力や発信力の育成を図る。	◎生徒一人ひとりがパワーポイントを使った発表をすることで、自分の考えを分かりやすく伝える工夫をすることができた。	A
実施した事業の内容	○若年教員を中心に、電子黒板やタブレットを使った授業が展開できている。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>委員会活動や学校行事等での発表の場の設定。</li> <li>プレゼンやフリップ等を使った発表の工夫。</li> </ul>	●教員のスキルアップのための研修や、タブレットを活用しての授業、発表のための生徒への情報教育等を充実させていく。	

重点課題 4 健やかな体の育成

具体的な取組内容(教育方針)		得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
(1)	豊かなスポーツライフの基礎を形成する学校体育		
	○運動の楽しさや喜びを十分味わいながら、自ら課題を解決したり、人間関係を深めたりしていく中で、生涯にわたって運動に親しむ資質能力を育てる。	◎体育祭のダンス発表等を通じて、生徒が自ら作り上げる喜びと達成感を味わうことができた。	A
	実施した事業の内容	◎多くの運動部が県大会出場を果たし、四国大会や全国大会にも出場した。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業や行事を通じた計画的な体力づくり。</li> <li>・校内、校外の各行事でのダンス発表の場の設定。</li> <li>・自己を高める運動部活動運営の実施。</li> </ul>	●苦手な生徒も体を動かすことの喜びを感じるような授業等の改善を行う。	
(2)	規則正しい生活習慣の確立		
	○家庭との連携を図りながら、「朝食」、「睡眠時間」及び「メディア利用」等の改善を図る。	◎学校保健委員会や保健だより等の定期的な発行により、保護者への啓発ができた。	A
	実施した事業の内容	○定期的な生活点検が生徒の意識の定着化に役立っている。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会主体のスマホ・ゲーム利用についての全校生への啓発。</li> <li>・定期的な生活点検調査の実施。</li> <li>・保健だより等による啓発活動や家庭との連携構築。</li> <li>・養護教諭・学級担任等の連携による「ゲーム依存」等に関する指導。</li> </ul>	●ネット利用時間が長く、生活習慣に問題がある生徒に対して、保護者を含めた粘り強く継続的な取り組みが必要である。	
(3)	望ましい食習慣を形成する学校給食		
	○食と健康の問題等について協議する学校保健委員会の開催や給食だよりの発行等、家庭や地域との連携強化を図る。	◎学校保健委員会で保護者が考えた「簡単で栄養のある」献立を通信で各家庭に周知することができた。	A
	実施した事業の内容	○給食試食会と学校保健委員会を同一日に開催したため、多くの保護者が参加した。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者参観日の給食試食会、給食参観会の実施。</li> <li>・給食だよりでのレシピ紹介等による保護者への啓発活動。</li> <li>・学校保健委員会の内容の充実。</li> </ul>	●保護者の参加人数を増やすとともに、継続的な指導・支援が必要である。	



重点課題 5 社会の変化に対応する力の育成

具体的な取組内容(教育方針)		得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
(1)	ICTの活用による情報活用能力の育成		
	○情報活用能力を育成するために、ICTを効果的に活用するとともに家庭や関係諸団体と連携しながら情報モラル教育の充実を図る。	◎専門機関による情報モラル学習を実施したり、保護者啓発用の文書を発行したりできた。	B
	実施した事業の内容	○タブレットやパソコンを活用した授業を実施する教科が増え、生徒のICTスキルの向上が図れた。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き教室等を利用したICT機器活用のための環境整備。</li> <li>・外部講師を招聘しての情報モラル学習の実施。</li> <li>・学年団通信等での保護者啓発。</li> <li>・ICT機器の活用についての校内研修の実施。</li> </ul>	●生徒・保護者の情報モラルに関する意識・マナーの更なる向上、および使用時間の制限など家庭での教育力の向上を図る手立てを工夫していく。	
(2)	国際化に対応する国際理解教育・外国語教育		
	○小中の円滑な接続を図り、小学校3・4年生では外国語に慣れ親しむこと、5・6年生では「読む・書く・聞く・話す」のスキルを定着させること、中学校では4技能をバランスよく育成できるようにする。	○小学校での英語教育の実態を把握して、生徒にとって継続性のある学習を構想できた。	B
	実施した事業の内容	○授業が活動的になり、授業以外の場面でもALTとコミュニケーションを取ろうとする生徒が増えている。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TT授業の実施やALTの積極的活用による授業改善。</li> <li>・ゲーム的要素の取り入れた指導の充実。</li> </ul>	●英語科教員全員が小中連携を意識して授業改善に取り組む必要がある。	
(3)	自然との共存に対応する環境教育		
	○持続可能な社会の担い手を育成するために、教科や総合的な学習の時間、特別活動等を通して、環境教育学習に取り組むようにする。	◎郷土に貢献する活動を通し、参画意識を高めるとともに意欲や自主性を育むことができた。	A
	実施した事業の内容	○目的を持たせたり、活動の取り組み方を工夫したりするなどすることで生徒が環境やエコについて考える機会となった。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団宿泊学習での自然体験活動の充実。</li> <li>・生徒会主導のエコ活動の実施。</li> <li>・環境保全意識の向上を目指した地域清掃ボランティアの実施。</li> </ul>	●主体性の育成につながる実践が必要である。	

④ 学校等施設整備の推進

担当課:教育総務課

基本方針	子どもたちが安全な学校施設で、安心して学ぶことができる教育施設等の整備
------	-------------------------------------

重点課題 1 子どもたちが安全な学校施設で、安心して学ぶことができる教育施設等の整備

具体的な取組内容(教育方針)	得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価						
(1) 学校等施設整備の推進								
<p>○非構造部材(外壁等)の改修工事、特別教室空調設備整備工事等を実施し、子どもたちが安全な学校施設で安心して学ぶことができる学校環境を整備する。</p> <p>&lt;整備計画&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校非構造部材(外壁等)改修工事</li> <li>・定期点検の結果に基づく危険性のある施設の改修・修繕工事</li> <li>・トイレの洋式化改修工事</li> <li>・特別教室空調設備整備</li> <li>・危険ブロック塀対策</li> </ul>	<p>◎特殊建築物定期点検で指摘のあった防火間仕切壁修繕及び外壁改修工事を実施した。また、危険ブロック塀対策工事により、学校施設の安全性が確保された。</p> <p>◎トイレ洋式化や特別教室の空調設備整備を行ったことで、学習環境改善が図れた。</p> <p>●今後も、外壁の落下防止対策工事や雨漏りによる屋上防水改修を行うとともに、今年度に引き続きトイレの洋式化や特別教室空調化を実施することで、学校施設の安全性や学習環境を向上していく必要がある。</p>	A						
実施した事業の内容	トイレ洋式化率「小中学校」							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特殊建築物定期点検で指摘のあった、三野津中学校防火間仕切壁の修繕、及び桑山小学校、仁尾中学校校舎外壁改修。</li> <li>・比地・二ノ宮・比地大・笠田・上高野・仁尾小学校及び三野津・詫間中学校計7校の、トイレ洋式化。</li> <li>・上高瀬小学校外14校の音楽室空調設備整備。</li> <li>・上高瀬及び上高野小学校の危険ブロック塀の改修。</li> </ul>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%;">R元</td> <td style="width: 33%;">R2</td> <td style="width: 33%;">R3(目標)</td> </tr> <tr> <td>56.4%</td> <td>62.2%</td> <td>66.2%</td> </tr> </table>		R元	R2	R3(目標)	56.4%	62.2%	66.2%
R元	R2		R3(目標)					
56.4%	62.2%	66.2%						

⑤ 学校再編整備の推進

担当課:教育総務課

基本方針

子どもたちが互いに学び合う機会をつくり、たくましく育つ環境の整備

重点課題 1 適正規模・適正配置の基本的考え方に基づく再編整備

具体的な取組内容(教育方針)	得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
(1)	学校再編整備の推進	
<p>○適正規模、適正配置を考えるうえで、地域社会、財政等も考慮し再編整備を推進する。</p> <p>&lt;整備計画&gt;            ◎令和元年度            ・三豊市立学校再編基本方針の策定            ・幼稚園、小学校再編整備推進            ◎令和2年度            ・幼稚園、小学校再編整備推進</p>	<p>・山本地区4幼稚園            ◎令和2年4月開園予定。</p> <p>・豊中地区学校再編整備            ◎市内の学校の現状・豊中地区の小学校の現状等、再編について説明し、統合の必要性を説いた。</p>	A
<p style="text-align: center;">実施した事業の内容</p> <p>・山本地区4幼稚園            平成31年4月の建築開始。</p> <p>・三豊市立学校再編整備基本方針策定(第2期～第4期)</p> <p>・豊中地区学校再編整備            令和元年10月より保護者をはじめ自治会長等、住民説明会を開催</p>	<p>●地域・保護者の理解を得、豊中地区学校再編整備地域協議会を設立し、統合を進める。</p> <p>●再編が未実施の園区・校区については保護者の理解が得られるように取り組んでいく。</p>	

## ⑥ 生涯学習の方針

担当課:生涯学習課

基本方針	生涯にわたって学び、学習成果を地域社会に活かす市民力都市・三豊
------	---------------------------------

### 重点課題 1 生涯学習推進の環境づくり

	具体的な取組内容(教育方針)	得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
(1)	<b>公民館の拠点機能の強化</b>		
	○公民館の学習講座受講者数は年々増加しているものの、利用する世代に偏りがあるため、幅広い年齢の利用者の掘り起しに努める。	◎公民館講座は、受講者数が年々減少傾向であったが、講座数の増により延べ受講者数は増加。各地区館で地域の特色を活かした講座を企画した。	A
	実施した事業の内容	○ローカルの防災無線、市HPで情報を発信月平均4000ページビューの閲覧がある。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙、防災無線、市HPを利用して講座情報や事業報告を幅広く発信</li> <li>・幅広い年代の学習活動を促進する事業を展開</li> </ul>	○各町公民館同士で連携を図った講座を少しずつ開催しており、旧町の地区の枠を超えた交流が始まっている。	
	○地域住民の参画を得つつ、真に市民・地域の学習、地域づくりの拠点となるよう、公民館の拠点強化及び、関係機関との連携を図る。	◎ 学校や体協、社協等と連携を取りながら行事を企画・運営、参加率も高く大きな盛り上がりを見せており、拠点となっている。	
	実施した事業の内容	○ 防災に関する講座や訓練は、継続して、地区館も分館も開催してきた。地域拠点としての公民館の防災に対する意識は年々高くなってきている。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動だけでなく学習成果を活かし地域に還元できる行事・講座を実施</li> <li>・安心・安全に関する学習講座を実施</li> <li>・情報共有や研修を実施</li> </ul>	● 学校統廃合の関係で地域から小学校、幼稚園がなくなり、学校等との連携が難しい地域が出始めたため、土日の行事を開催し、子どもたちが参加しやすい企画を工夫する必要がある。	
(2)	<b>図書館の拠点機能の強化</b>		
	○老朽化の著しい施設が多く、移転が必要な図書館もあるため、市全体の図書館の再編を進め、市民が図書館に期待する蔵書やサービス、機能の拡充に努める。	◎平成29年度に移転したみとよ未来図書館の開館1周年を記念したイベントを開催し、広く市民に利用いただける場となった。	
	実施した事業の内容	○平成29年度に策定した図書館基本計画に基づき、「みとよ未来図書館」が市内の図書館の中で、中央館としての機能を担い、蔵書構成や各種イベントの実施等において中心的な役割を担えるよう検討した。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館基本計画の推進</li> <li>・インターネット用パソコンの更新</li> </ul>	●老朽化している三野町図書館(三野町文化センター内)の移転を進めること。	

<p>○利用頻度の低い若い世代や現役世代などの意見を踏まえながら、より利用しやすい図書館、多様な機能を併せ持つ図書館運営を目指す。</p>	<p>○ 秋の読書週間に合わせ、図書館フェスタを開催。各館ごとに特色あるイベントや展示等を行い、親子連れや小・中学生など若い世代の来館が増加した。</p>	A
<p>実施した事業の内容</p>	<p>○ 子どもの読書活動推進のため平成30年度に策定した「第3次三豊市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの活字離れ対策としての読書活動の推進を行った。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書館基本計画の推進</li> <li>・ 学校回送事業の開始</li> <li>・ 図書館フェスタ</li> <li>・ おはなし会研修講座</li> <li>・ 図書館システムの更新</li> <li>・ 読書手帳の作成</li> <li>・ ブックスタートの配布方法の変更</li> </ul>	<p>◎ 図書館システムの更新を行い、利用者により快適なサービス提供が行えるよう取り組んだ。</p> <p>● 今後は図書館基本計画に基づき、利用者の利便性を高めるため開館時間や休館日の見直し、ワークショップ等を開催し、市民ニーズを把握していく必要がある。</p>	

重点課題 2 家庭教育力の向上

具体的な取組内容(教育方針)	得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
<p>(1) 保護者の学習機会の拡充</p>		
<p>○仕事などで参加できない保護者もいることから、より多くの保護者に家庭教育の大切さを理解していただき、保護者同士で学び合える事業の展開と実践に努める。</p>	<p>○家庭教育学級では市内外から講師を招いた講演会や親子活動など多彩で内容のある研修が実施できている。(4月～2月末までの開催20校園、延べ112回。子育て講座、お話し会、親子体操、地域文化の継承、音楽的活動、食育、ネット犯罪の防止講座、人権教育、交通安全教室等)</p>	B
<p>実施した事業の内容</p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭教育学級の実施を促す助成</li> <li>・子育てに関する各種パンフレット、他団体実施の事業に関する情報提供</li> <li>・県事業、国事業に関する情報提供</li> </ul>	<p>●実施校園の拡大のために、市内校長会、教頭会等の折に一層情報提供を行う。</p> <p>●家庭の状況が多様化する中で、子どもの発達段階に応じた家庭教育学級の実施が急がれる。市内校長園長会・教頭会で実施を呼びかける。</p>	
<p>○少子化・核家族化に伴い、家庭における子育てが一層重要になっている社会的背景を踏まえ、子育ての楽しさや責任を学ぶ家庭教育学級の充実を図る。</p>	<p>○ 未実施校への主旨の説明と諸手続きに関する情報提供により、幼稚園16園、中学校1校、小学校3校で実施。</p>	
<p>実施した事業の内容</p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「家庭教育学級」開催の意義と目標の説明</li> <li>・未実施校への実施の呼びかけ</li> </ul>	<p>● 幼小中で数多く実施されているが、中にはPTA研修として行われている場合が見られる。「子育ての楽しさや責任を学ぶ」「家庭教育の在り方を学ぶ」といった本来の視点からの活動への見直しを呼びかける。</p>	

(2)	家庭教育に関する地域活動の活性化	
○家庭教育への主体的・積極的な働きかけを行う。	<p>○平成31年度版「早寝早起き朝ごはん」国民運動リーフレット、子育てハンドブック「今こそ家庭教育」、「生活習慣、リズム感教室」CD、「さぬきの子育て思春期サポート」等の県作成の小冊子等の配付と活用を進める等、家庭で行うべき基本的な生活習慣形成の啓発を行った。</p> <p>○市内中学校へ「早寝早起き朝ごはん」推進校の事業を周知し、募集ができています。</p> <p>●各園・校で実施している事柄の情報交換の場が少ない。積極的に活動を進めている三野津中学校等の実践成果も市内各園・校に広く周知したい。</p>	
実施した事業の内容		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度「家庭教育状況調査」の実施</li> <li>・県の「家庭教育支援ボランティア派遣事業」の周知等各校園の取り組み強化のために、各種情報の提供</li> <li>・就学前保護者啓発事業など、県事業の積極的な導入</li> <li>・令和2年度「早寝早起き朝ごはん」推進校事業の広報と募集活動の実施</li> </ul>		
○保護者それぞれの考え方がある中で、様々な視点から家庭を見守ることのできる仕組み作りを努める。	<p>○社会教育委員会が市の社会教育全般について提言することができるように実施方法を改善し、地域でのリーダー育成について等実践的な討議が行われるようになった。</p> <p>●地域学校協働活動など、仕組み作りについては、担当がコントロールできる程度を超えているので、教育委員会として積極的に取り組む姿勢を期待したい。</p>	
実施した事業の内容		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育委員会の内容の改善</li> <li>・地域学校協働活動についての情報提供</li> </ul>		
○家庭に最も近い存在であるPTA連絡協議会や地域団体などの地域・保護者・学校の三者が強く連携し、家庭教育に関する啓発と学習機会の拡充を図る。	<p>○指導者研では、渡辺英幸氏の講演を実施、日々の子育てで生かせるよい研修になった。幼小中別分科会ではテーマに沿ったPTA活動の在り方について話し合った。</p> <p>○単P代表者研修会、四国P香川大会など、外部研修に積極的に参加。</p> <p>○健全育成会議とともに行った講演会、年間4回の母親研修会、幼稚園部会研修会、広報編集作業などを順調に進めることができ、市P広報紙で成果を広く周知できた。</p> <p>●役員がさらに主体的・積極的に活動を推進していく態勢作りを急ぎたい。</p>	B
実施した事業の内容		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者研を実施(講演会、幼小中分科会に分かれて実践報告と討議)</li> <li>・県P、四国Pなどが行う研修会への積極的な参加</li> <li>・健全育成委員会、母親部会、広報委員会、幼稚園部会を計画的に実施</li> </ul>		

<p>○家庭教育を含む地域教育活動の中心となるリーダーの確保・育成を図る。</p>	<p>○ ぴっぴ子育てチームを家庭教育支援チームとして、県教委を通して文科省に登録した。</p>
<p>実施した事業の内容</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・文科省が公募している家庭教育支援チームへのチーム登録を推進</li> <li>・市子連「こども広場」実施にともない、運営スタッフを募集することでリーダー発掘と養成</li> <li>・ジュニアリーダーの活動の助成</li> </ul>	<p>○ 今年度3回実施した市子連「子ども広場」では、児童全員へのチラシ配布やホームページでスタッフを募集した。地域教育活動への関心を高める方策が必要である。</p> <p>○ 人数は4人と少人数だが、ジュニアリーダーが子ども広場や町子連で活躍。</p> <p>● 子ども会の指導者・JL・シニアリーダーの育成が課題である。</p>
<p>○多様なアプローチから家庭教育支援が行われるよう、関係機関と連携する。</p>	
<p>実施した事業の内容</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・県事業「さぬきっ子安全安心ネット指導員」「家庭教育推進専門指導員」の活用</li> <li>・各種団体と連携した活動</li> <li>・地域人材を活用した活動の実施</li> </ul>	<p>○ 警察、図書館、社協、市人権指導員、地域の各種専門家、県教委の指導員等、多くのプロとの連携により、家庭教育力の向上を目指す取り組みが多く見られている。今後も活用が進むよう積極的に情報提供を行う。</p> <p>● 公民館を核とした連携協働が今後の課題である。</p>

重点課題 3 文化・芸術活動の促進

具体的な取組内容(教育方針)		得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
(1)	<b>文化・芸術活動の環境づくり</b>		
<p>○市民の潜在的な活動意欲を実現するため、市全体で文化・芸術活動の気運を高めていく。</p>	<p>○マリンウェーブの管理運営を指定管理者に委託することにより、様々な文化・芸術活動が展開され、市が直営で行うよりも多種多様なメニューを市民に提供することができた。</p>		
<p>実施した事業の内容</p>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者によるマリンウェーブ事業の実施</li> </ul>	<p>●市全体として、今後、文化・芸術活動をどのように推進していくかについて、基本的な計画を策定して取り組む必要がある。</p>		

<p>○活動の中心となる文化協会の活性化と効率的な運営を支援する。</p>		
<p>実施した事業の内容</p>		
<p>・市文化協会に対する活動補助金の交付</p>	<p>○市文化協会へ補助金を交付することにより、各団体の活動を支援し、市民の文化振興を推進した。</p> <p>●協会の更なる自主・自立に向けて、資金面での補助だけでなく、活動の推進に向けた指導等が必要である。</p>	B
<p>○多様な文化・芸術活動が行われるよう、文化協会の主体的かつ活発な活動を中心に市全体の環境づくりを推進する。</p>	<p>○各町で文化祭を開催。文化協会の各支部が中心となり、盛大に開催できた。</p> <p>○文化協会だけでなく、様々な社会教育団体から参加があり、垣根を越えた文化活動ができた。</p>	
<p>実施した事業の内容</p>	<p>○文化祭に多くの来場者が訪れ、文化・芸術活動やその成果を発表する機会となった。</p>	
<p>・市文化協会主催の文化祭の開催 ・文化団体の活動の紹介 ・市全体での文化祭の実施 ・県展の入賞、入選作品を市内で展示</p>	<p>○会報、市広報、防災無線等を活用し、文化活動の周知ができた。</p> <p>○三豊市内在住の方で第84回香川県美術展覧会に入賞、及び入選した作品の展覧会を市内で実施し、高い芸術性を持った作品を身近で展示できた。</p> <p>●新規加入者数が少ない。若年層の増加がないので、若い世代が加入しやすい環境づくりが課題である。</p>	
(2)	伝統文化の継承と新しい文化・芸術の創造	
<p>○少子化・高齢化が進む中、伝統芸能や地域行事を継承する担い手の育成に努める。</p>	<p>◎国庫補助を活用した担い手の技術向上・後継者の育成を中心にした事業を継続して行った。</p>	
<p>実施した事業の内容</p>		
<p>・国庫補助事業を活用した地域における後継者育成の取り組み</p>	<p>●担い手育成には多少なりとも予算が必要であるが、補助金の額も年々減少していることから、補助金頼みとなりがち各団体の資金面の体質改善や新たな収入を考えていく必要がある。</p>	



<p>○地域の大切な財産である伝統・風習が次代に継承されるよう、市民・地域・学校・関係機関と連携し、担い手の育成とより多くの人が、見る・触れる機会の拡充を図る。</p>	<p>○ 県との連携を図り、補助事業や助成事業について、公民館や文化施設等に広く周知できた。</p> <p>○ 市内の小・中学校やマリウエーブ等の施設に対し、文化・芸術にかかる情報を周知した。</p>	B
<p>実施した事業の内容</p>	<p>○ 伝統芸能等の上演を定期的に行い、市民が文化財に触れる機会を提供した。また、様々な方法でイベント等の周知に取り組んだ。</p>	
<p>・市内の学校や施設、各種団体に等に対する文化事業の案内、参加促進 ・積極的な情報発信による広報</p>	<p>○ 文化・芸術による子どもの育成事業の普及に取り組んだ。</p> <p>● 実施希望校が減っている為、今まで取り組めていない学校に対する更なる周知が必要である。</p>	
<p>○市民の主体性が発揮され、新しい文化・芸術が創造されるよう、多様な活動を積極的に支援する。</p>	<p>○ 各町で各文化協会の支部が中心となって盛大に文化祭を開催することができた。</p> <p>● 新しい文化・芸術の創造に向けて、既存の文化協会の団体とマリウエーブ、文化協会に属していない団体の活動等、市全体で今後の取り組みを考えていく必要がある。</p>	
<p>実施した事業の内容</p>		
<p>・文化協会を主体とした文化祭の開催</p>		

重点課題 4 文化財の保護・継承

具体的な取組内容(教育方針)	得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
<p>(1) 貴重な文化財の適切な保護</p>		
<p>○指定を受けていない貴重な文化財が残存することから、適切な文化財の保護に努める。</p>	<p>○業者等が開発行為を行う前に包蔵地の照会を行い、適切な文化財の保護に努めた。</p>	
<p>実施した事業の内容</p>		
<p>・埋蔵文化財包蔵地照会の徹底</p>	<p>●各種開発工事の際に、文化財が破壊されていないかどうかを確認するために、今後は市文化財保護協会等と連携を取りながら確認していく必要がある。</p>	

<p>○ 地域の歴史と伝統を後世に伝える文化財の適切な保護のための発掘調査及び保護事業を推進する。</p>	<p>○ 発掘調査を行うことで、市内の埋蔵文化財包蔵地を適切に保護し、その価値を明らかにする調査及び整理を実施した。</p> <p>● 内容が把握できていない遺跡は市指定史跡で約30箇所、包蔵地では約300箇所ある。市指定史跡は特に厳しい土地利用規制がかかっているため、その内容の把握は最低限行う必要がある。そのため、今後も継続的な調査が必要である。包蔵地である男谷窯跡は県内でも最大規模の窯跡であることが分かった。このように優秀な遺跡がまだ市内には多くあるため、その確認も継続する必要がある。岡本条里跡は開発対応で行った調査であるが、事前に確認を行うことで遺跡の保護と開発とが円滑に進むため、今後も適切な対応を行う必要がある。</p>	A
<p style="text-align: center;">実施した事業の内容</p>		
<p>・ 男谷窯跡、岡本条里跡、宗運寺古墳、馬城古墳の発掘調査を実施</p>		
<p>○ 地域に根差した文化財保護体制の強化に向けて、文化財の価値や調査の成果をわかりやすく伝え、市民の文化財保護意識の向上に取り組む。</p>	<p>◎ 詫間町考古館において、「その池」と「海の底」という三豊市の身近な水中から見つかった遺物をテーマに企画展を行い、ふるさとの歴史や文化への意識向上が図れた。そのほかにも、様々な体験や企画展を実施した。</p> <p>○ 公民館の歴史講座や文化財保護協会の講演会等で地域の文化財を取り上げ、市民の文化財に対する意識向上が図れた。</p>	
<p style="text-align: center;">実施した事業の内容</p>		
<p>・ 詫間町考古館における各種企画展の開催 ・ 古文書講座や歴史講座等の開催</p>	<p>● 市内には多くの興味深い文化財があるが、まだまだ伝えきれてはいない。特に若い世代に対する啓発ができていない。今後は、文化財保護協会と協力しながら、文化財の魅力を発信する必要がある。</p>	
(2)	より幅広い分野への文化財の活用	
<p>○ 地域での受け継がれてきた知恵、技術、伝統行事を後世に残すため、より多くの人に文化財の価値を周知し、様々な分野での活用に努める。</p>	<p>○ 公民館講座や文化財保護協会の活動の中で歴史講座等を行い、文化財を実際に見てもらうことにより、その価値について伝えることができた。</p>	B
<p style="text-align: center;">実施した事業の内容</p>		
<p>・ 歴史講座等の開催</p>	<p>● 若い世代に対する啓発ができていない。学校の授業や各種イベントを通じて、地域の伝統行事や文化財をもっとPRする必要がある。</p>	
<p>○ 歴史や先人の知恵を物語る文化財を通して、郷土への愛着心を育む学校教育と生涯学習の充実を図る。</p>	<p>○ 昔の人が知恵をしぼり、工夫して使ってきた民具を実際に使い、きな粉づくりや縄づくりを行うことで、昔の人の道具に対する思いを感じ、昔の暮らしを想像する体験ができた。</p>	
<p style="text-align: center;">実施した事業の内容</p>		
<p>・ 詫間町民俗資料館・考古館における小学生を対象とした民具等の体験学習 ・ 宗吉かわらの里展示館における陶芸体験等</p>	<p>○ 国指定文化財の宗吉瓦窯跡で陶芸体験や張子の虎づくりを行うことにより、文化財や伝統文化に触れる機会を提供できた。</p> <p>● 学校教育の中では文化財の学習がほとんどできていないため、学校と協力して子どもたちへの周知を図る必要がある。</p>	

<p>○観光、まちづくり、地域活性化など幅広い分野において、郷土の歴史と文化財を活かす取り組みと環境づくりを推進する。</p>	<p>○ 宿泊施設として利用されている鳥取邸（豊中町）及び松賀屋（仁尾町）の建物の国指定（登録有形文化財）について準備を行った。</p>	
<p>実施した事業の内容</p>	<p>● 文化財を観光に活用する流れは全国的に認められるが、保護と活用は相反する要素があり、積極的に活用することが文化財の破壊につながる可能性もある。この矛盾を理解したうえで、基本計画や保存活用計画を策定し、文化財をいかに活用していくかについて体系的に考える必要がある。</p>	
<p>・ 鳥取邸及び松賀屋の登録有形文化財（建造物）指定に向けての準備</p>		

重点課題 5 学習成果を地域に還元する仕組み

具体的な取組内容(教育方針)		得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
(1)	全市的な仕組みの構築		
<p>○あらゆる分野で自発的な市民活動が期待される今日、市民の地域貢献への意欲を後押しし、個人の活動→市民・グループの自主活動→地域社会への貢献やボランティアへとつなげることを「仕組」として構築する。</p>	<p>◎読み聞かせボランティアグループを対象に研修会を開催、ボランティアを育成。</p> <p>○市民一人ひとりが持つ知識や経験を発揮する場を提供し、地域の一員として重要な役割を担うという意識を持つことにつながった。</p>	A	
<p>実施した事業の内容</p>	<p>●多くの市民が、生涯学習を通じてもっと地域に目を向け、地域活動に自主的に参加する機運を高める必要がある。そのために、公民館や図書館、各種団体等が交流する機会をもっと増やし、様々な事業に連携して取り組めるようサポートし、活性化を図る。</p>		
<p>・各種社会教育団体等における自発的で活発な活動の推進 ・読み聞かせボランティアを対象とした研修会の実施</p>			
<p>○「市民力都市・三豊」の実現に向けて、健康増進、交流の活性化、教育環境の向上、文化の継承と創造に重点を置き、市民・団体と一緒に学習成果を地域に還元できる仕組みを構築する。</p>	<p>○ 地域住民が自分たちの活動の中で培った力を地域で発揮し、自発的に取り組むことで、さらなる地域の活性化や安心・安全なまちづくりにつながった。</p>		
<p>実施した事業の内容</p>	<p>● 市民一人ひとりが地域の中で力を発揮し、自分たちの地域のことは自分たちで考えて行動できる場を増やすとともに、市民の力をまちづくりに生かせる仕組みについて行政や市民、様々な団体等が協力して、一緒に考えていく必要がある。</p>		
<p>・ 地域住民が老若男女を問わず自発的に交流できるイベント等の実施</p>			

⑦ 青少年の健全育成

担当課:生涯学習課

基本方針	地域で見まもり・地域に教わり・地域で育てる
------	-----------------------

重点課題 1 青少年教育の充実

(1)	具体的な取組内容(教育方針)	得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
	<p>少年期の健全育成</p> <p>○少年の健全な育成を図るため、非行を防止し、明るい家庭と住みよい地域づくりに努める。</p>	<p>◎個別の要請や情報提供に応じて、現場への臨場や確認。事後の対応・継続実施。</p>	
	<p>実施した事業の内容</p> <p>・補導員総会、南三町補導員研修会、北三町補導員研修会、仁尾補導員研修会、運営協議会。                  ・JR駅早朝補導(市内全駅・毎水曜)                  ・小学校周辺パトロール(毎水曜午後)                  ・薄暮補導(日没に合わせた時間帯に変更)                  ・特別補導(各町1回・年間7回)                  ・中学校などの個別の要請や通報を受けて聞き取りを行い、臨時の補導を実施。                  ・長期休業中、期間を決め広報・補導活動も実施。</p>	<p>○子どもたちと交流の多い地域の方々も含めた関係者が連携することで、子どもの様子をより詳しく共有することができ、時機に合わせた補導活動の取り組みができた。</p> <p>○研修会の講演内容を実態に合うよう変更。</p> <p>●研修会への参加者が、各種の事情(例高齢化)により減少・固定化されつつあるので、今後も工夫を加え、共通行動と補導活動の充実を図りたい。</p>	
	<p>○少年の規範意識や社会的な自律意識の向上を図るために、中学生による「一日補導員」体験や喫煙防止・万引き防止キャンペーン等を行う。</p>	<p>○各訪問先で、少年の非行の実態を知り、学んだことを校内で伝えていこうという意識を持つことができた。</p> <p>○訪問先では、マナーを守り、自ら考えて行動することができた。</p> <p>○「少年を守る会」が三豊警察署等の関係機関と連携して、直接声をかけながら啓発活動が行えた。</p> <p>●啓発の効果を上げるには、キャンペーン期間中に限らず、通年的な啓発・補導活動につなげたい。</p>	A
	<p>実施した事業の内容</p> <p>・「中学生一日補導員」(7月)体験に市内7校の中学校から、生徒14名と引率教員・市内補導員理事が参加。                  ・ゆめタウン三豊・三豊警察署で、少年非行の現状や防止の取り組みについて傾聴。                  ・ゆめタウン三豊で少年の喫煙・非行を防止するためのキャンペーン。                  ・「未成年者喫煙防止キャンペーン」(7月)実施。                  ・「地域安全運動防犯キャンペーン」に参加。</p>		

(2)	家庭や地域との連携・支援	
<p>○「教育の根源は家庭にあり」を基本とし、関係機関と連携しながら家庭教育の重要性を訴えるとともに、家庭に向けた「子育て支援リーフレット」を作成・配布する。</p>		
<p>実施した事業の内容</p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「子育て支援リーフレット」を一新し、家庭でも見やすく活用しやすいものを作成。</li> <li>・市内の保・幼・小・中の入学生の保護者に対して、「子育て支援リーフレット」を配布。</li> </ul>	<p>○学校と連携し、リーフレットを保護者に配布することで、家庭教育に関する意識の高揚と啓発につながる資料となった。</p> <p>●家庭環境や情報環境等の変化が激しいため、今後、改訂する期間を検討する。</p>	
<p>○子どもの被害防止に向けて、安全安心パトロール隊や子ども見守り隊などの地域ボランティア活動に対する協力と支援を充実させる。</p>	<p>◎ 継続的なパトロールによって、不審者情報の減少を常態化させることができている。</p>	
<p>実施した事業の内容</p>	<p>○ 27名が新規に隊員登録した。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全安心パトロール隊員対象の警察による「青色防犯パトロール運転者講習会」(1月)を開催。</li> <li>・安全安心パトロール隊の地区代表者会を開催。 (各地区や学校との情報共有)</li> <li>・地域に出向き、安全安心パトロール隊の活動紹介、新規隊員募集。</li> <li>・講話依頼の校区(上高瀬・神田)での研修会。</li> <li>・市内校長会において、「子ども見守り隊」についての説明。「子ども見守り隊」についての共通理解。</li> <li>・「子どもSOSの家」、緊急事態発生時の対応について、各家庭および事業所に対応マニュアルの回覧。</li> </ul>	<p>○ 地区ごとの会をもつことで、地域での防犯意識を向上させることができた。</p> <p>○ 校長会で説明を行うことで、「子ども見守り隊」に関する各小学校の共通理解の足掛かりになった。</p> <p>● 隊員の高齢化に伴い、今後も隊員の募集に努め、活動の充実を図りたい。</p> <p>● 今後は各小学校の共通理解をさらに図るために、説明をしたり資料を配布したりしながらの働きかけを行っていききたい。</p>	A
<p>○青少年健全育成市民会議により、学校や地域が行う健全育成活動を支援するとともに、あいさつ運動やふれあい活動を推進する。</p>	<p>○ 継続的に「善行青少年」「青少年健全育成功労者」を顕彰することで、日常的な善行に対する意識が高まっている。</p>	
<p>実施した事業の内容</p>	<p>○ 香川県地域密着型スポーツ活用協議会交流事業で「香川ファイブアローズ」を招致し、小中学生が多数参加した。(112名)</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツふれあい事業「香川ファイブアローズとバスケットをしよう」(8月)を実施。</li> <li>・「家族ふれあい・あいさつ運動・わたしの夢」絵画・標語の作品を募集(7月)。</li> <li>・善行青少年・健全育成功労者を表彰(12月)。</li> <li>・表彰作品を掲載した「令和元年度啓発カレンダー」を作成・配布(12月)。</li> </ul>	<p>○ 青少年健全育成事業「表彰式並びに講演会」において、今年も講演会を第一部とし、第二部を表彰式した。講演会は、盛況であった。会場舞台変更を短時間でできるよう計画を工夫し時間短縮を図れた。</p> <p>● 講演会参加者数増のための対策を検討する。</p>	

(3)	少年育成センターの運営	
<p>○少年の健全な育成を図り、非行を防止し、明るい家庭と住みよい地域づくりに努める。</p>		
<p>実施した事業の内容</p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・不審者情報のメール配信。</li> <li>・不審者情報に対する再発防止対策の推進</li> <li>・早朝駅前補導・薄暮補導活動、小学校周辺パトロール等を継続的に実施。</li> <li>・補導員研修会を開催、県研修会や四国内の研修会に参加。</li> </ul>	<p>○メール配信会員の増員に努めるとともに、メール配信システムの変更によりスムーズなメール送信が可能となった。</p> <p>○不審者出沒に伴い、学校・関係者からの情報収集の結果、不審者が特定でき、本人と面接し、再発防止を図れた。</p> <p>○補導時の声かけを重視し積極的にするなど効果的な補導を実施した結果、不審者通報件数が減少した。</p> <p>○研修会を開催したことで、参加した補導員等において情報共有が図れ、補導活動が充実した。</p> <p>●薄暮補導において、より効率的に声かけできるよう冬季の補導時間を変更し補導の充実を図りたい。</p>	
<p>○学校・家庭や関係機関・団体との連携強化を図り、中核となって街頭補導と継続指導を行う。</p>	<p>○三豊警察署、生徒指導主事との連携が迅速に図られた。</p> <p>○学校で問題行動が発生した場合、少年育成センターや家庭へ連絡することの抵抗を減らすことができた。</p>	
<p>実施した事業の内容</p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係者と情報共有し、学校や三豊警察署と連携を図り、よりよい対策を実施。</li> <li>・通報内容を吟味し、メール配信。</li> </ul>	<p>●各種事件・事故発生に伴う、地域の各防犯ボランティア団体等との連携・情報共有化対策の検討が必要である。</p>	
<p>○少年の生活行動の広域化・深夜化・多様化に伴い、管外の諸機関との連携を更に強化していく。</p>	<p>○県内情報や西讃地区における情報・状況認識の共有化が図れた。</p>	
<p>実施した事業の内容</p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・県少年育成センター所長会</li> <li>・県少年育成センター補導主事会</li> <li>・三観地区中学校生徒指導主事研修会</li> <li>・西讃高校生徒指導主事会</li> <li>・西讃高校合同列車補導等</li> <li>・常駐補導員研修会の開催(年9回)</li> <li>・小中高生徒指導担当者研修会</li> <li>・西讃地区少年育成センター補導員研修会(年4回)</li> <li>・市内街づくり推進隊との日常的な情報交換</li> </ul>	<p>○観音寺少年育成センターとの合同研修会も2年目に入り情報交換がスムーズに行えるようになった。また、同日のゆめタウン三豊の特別補導に三豊市の補導員会の理事の方々も同行するようになった。</p> <p>○市常駐補導員研修会に、観音寺市の2高校が本年度も参加し、三観地区を一体とらえた情報交換が図れた。</p> <p>●各会議において、より健全育成や補導活動に成果を上げられるような具体的な取り組みを生み出したい。</p>	A

<p>○少年が抱える問題や悩みの早期発見・解決を図るために、関係機関・学校・家庭との連携を密にし、来所相談・電話相談・訪問相談の充実を図る。</p>	<p>○ 教育相談により、保護者や生徒の勇気づけができた。</p>
<p>実施した事業の内容</p>	<p>○ 訪問・来所相談も積極的に行うことができた。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電話・訪問・来所相談を通し、相談者の共感的理解、他の相談機関とも連携し、早期対応。</li> <li>・ 相談しやすい雰囲気づくり。</li> <li>・ 研修会に参加。相談員の資質向上。</li> <li>・ 「広報みとよ」で相談に関する啓発・広報活動を実施。</li> </ul>	<p>● 不登校生徒や悩みを抱える相談者が、自己肯定感を持って、前向きに考えられるような相談活動にしていきたいが、現状の少年育成センターの配置では厳しい状態である。</p>
<p>○白ポストによる有害図書等の回収処理を行うとともに、少年をとりまく環境やたまり場に関するの情報交換を密にする。</p>	<p>◎ 有害図書等を回収し、適正に処理して環境の浄化を図ることができた。</p>
<p>実施した事業の内容</p>	<p>○ 学習会を通して、幼児・児童への虐待の危険から子どもたちを守る知識を習得し、今後の活動に生かそうとする意欲につながった。また、情報交換により、現状の把握と認識の共有化が図れた。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「少年を守る会」と連携し、市内7地区17箇所の白ポストの有害図書等の回収を定期的の実施。</li> <li>・ 会員の力量を高めるため、「幼児・児童への虐待」等に関する学習会を開催。</li> <li>・ 街頭補導の一環として、市内の商業店舗との情報交換の実施。</li> </ul>	<p>● 非行防止に向けて、関係機関や店舗等との連絡を更に密にしたい</p>

⑧ スポーツ振興の方針

担当課:スポーツ振興課

基本方針	子どもの夢を広げ、実現する《知・体・心を育み、自分らしく暮らせるまち》
------	-------------------------------------

重点課題 1 スポーツの振興

	具体的な取組内容(教育方針)	得られた成果◎◎ 課題と今後の取組●	評価
(1)	スポーツ人口増加の促進		
	○スポーツ人口の増加に向けて、スポーツ推進委員会が活動しやすい環境を作る。	○三豊市スポーツ推進委員会が主催となりウォーキングイベントを実施している。今年はコースを変更し、小学生から年配者まで、約50名の参加があった。幅広い年代の方々に、ウォーキングを楽しんでもらえた。	B
	実施した事業の内容		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊中ウォークの開催</li> <li>・ファミリー体力測定会の開催</li> <li>・研修会(スポーツ推進委員対象)</li> </ul>	<p>○毎年、様々な種目についての研修を実施している。今年はマリンスポーツと水場での救命についての研修を実施し、スポーツ推進委員の資質向上に努めた。</p> <p>●体力測定会については、参加者が年々減少している。知らない方も多くいるようなので、周知方法を再考したい。</p>	
	○気軽にできる運動や交流を広げるニュースポーツの普及に向けた教室を支援する。	○運動が好きでない子どもでも気軽に楽しく参加できるニュースポーツの出前教室を実施し、運動することの楽しさを伝えることができた。	
	実施した事業の内容	○障がい者とのふれあいにより、障がい者スポーツについての指導方法等を体験することができた。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後児童クラブの小学生を対象に、スポーツ推進委員によるニュースポーツの出前教室を実施</li> <li>・子ども会の行事にて、ニュースポーツの出前教室を実施</li> <li>・県リハビリテーションセンターの障がい者スポーツ教室の運営補助</li> </ul>	<p>●放課後児童クラブへの出前教室については、開催希望の多い平日に参加可能な指導員を確保するのが課題である。</p>	
(2)	体育協会による自主的活動の促進		
	○体育協会所属の各団体による自主的な活動や、各地区で行われるスポーツ大会や初心者教室等の継続的な開催に向けて支援する。	○市体育協会へ補助金を交付している。体育協会の各団体の活動に対し、市体育協会にて補助金を分配し、自主活動を促進している。	B
	実施した事業の内容		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市体育協会への補助金交付</li> </ul>	○市体育協会主催で、幼稚園児と小学1・2年生を対象とした「アクティブチャイルドプログラム」を実施。多くの子ども達の参加があり、楽しく体を動かす活動を行った。	



重点課題 2 スポーツ施設の充実

具体的な取組内容(教育方針)		得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
(1)	計画的な施設・設備の整備		
○市全体の公共施設の適正配置との整合性を図りながら、社会体育施設として市民ニーズを踏まえた機能の充足と運営を行う。		○所管課や施設管理人、学校等と連携し、施設の適切な維持管理に努め、利用者に不便のかわらないよう努めた。  ●未耐震の施設や老朽化している施設が多くある。	B
実施した事業の内容			
・施設の適切な維持管理			

重点課題 3 アスリートの育成支援

具体的な取組内容(教育方針)		得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
(1)	地域クラブチームの育成と支援		
○児童・生徒が希望するスポーツを続けられる環境をつくるため、校区や市域を超えた地域クラブチームの支援や人材育成を行う。		◎サッカー部の無い中学校の生徒に、サッカーをすることができる機会を提供できている。  ●当初より参加者は増加したものの、まだ少ない状況である。今後は、参加者を増やしていくための取り組みが必要である。  ●サッカー以外の種目についても、実施に向けて検討していく必要がある。	B
実施した事業の内容			
・カマタマーレ讃岐によりサッカークリニックの実施			
(2)	地域プロスポーツ団体との交流		
○サッカー・野球・バスケットボールなど地域プロスポーツ団体との連携により、スポーツ教室を開催する。		○カマタマーレ讃岐・香川オリーブガイナーズ・香川ファイブアローズの3チームが、それぞれ、小学生や中学生、スポーツ少年団を対象にスポーツ教室を実施した。	B
実施した事業の内容			
・地域プロスポーツチームによるスポーツ教室の実施			

⑨ 人権教育の推進

担当課:人権教育課

基本方針	人権が尊重される住みよい三豊市の実現を目指した人権教育の推進
------	--------------------------------

重点課題 1 学校人権教育の推進

(1)	具体的な取組内容(教育方針)	得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
	人権教育教材集・人権教育紙芝居を活用した人権教育の充実		
	○人権教育年間指導計画を作成し、計画的に実施する。	◎人権教育推進のための共通認識と組織・体制が整えられてきた。	A
	実施した事業の内容	○保・幼・小・中学校が連携して人権教育の推進に継続して計画的に取り組めた。	
	・基本方針や目的に沿った取組。 ・中学校区を単位に定期的な研修会や討議会を開催。情報・意見交換。	●就学前の保育士・幼稚園教員と子どもたちとの関わり場を、小・中学校の教職員が参観することによって、縦のつながりの中で15年間の子どもたちの成長に一層関わられるようにしたい。	
	○授業公開とその後に検討評価の会を開くことで教員の指導力の向上を図る。	◎ 三豊市すべての保・幼・小・中学校で人権紙芝居と人権教育教材集「人権」が系統性を意識しながら、実践できるようになった。	
	実施した事業の内容	○ 教職員の人権意識と指導力の向上により、児童・生徒及び保護者の理解と人権意識が深まっている。	
	・人権教育教材「人権」を使用した授業公開・実践後の討議会の開催。意見交換・指導・助言。 ・保・幼・小・中学校教職員等を対象とし、人権教育指導員が講師を務めた講演会、研修会等の開催。	● 幼児教育現場の多忙の中、研修方法等の効率化等の工夫が必要である。	
	○人権教育指導員が授業実践の前後に教材理解等の支援を行う。	○ 小・中学校には、人権教育教材集「人権」の活用を促進するとともに、公開授業・討議会等の各種研修会に参加して、その成果と課題について指導・助言を行い、教職員の指導力の向上を図ってきた。	
	実施した事業の内容	● 現在中学校区での各ブロックごとに実施している各種研修会を、三豊市全体での研修会に実施できるように広げていきたい。	
	○地域や学校間の格差の是正及び解消を図るため、市作成の人権教育教材集「人権」「同指導案集」「同実践事例集」などを全ての学校で有効に活用する。	○「指導案」や「実践事例集」を活用することで、主に同和問題学習の取り組みに対して共通理解と深まりがみられた。	
	実施した事業の内容	● 人権教育教材集「人権」の授業実践をとおして、指導案や指導内容の検討を一層積み上げることにより、格差の是正をより図っていきたい。	
	人権教育教材集「人権」の指導案・実践事例集を活用し、教材研究・実践、格差の統一化。		

<p>○ 三豊市学校人権・同和教育研修会の取り組みを通して、三豊市全体の人権・同和教育の質を高める意見交換の場とするとともに、これまで各地域で実施している研修をさらに充実する。</p>	<p>○ 人権教育教材集「人権」を使った公開授業とその後の討議会等とおした授業交流により、それぞれの実践授業の質の向上を図っている。</p>	
実施した事業の内容		
<p>・ 三豊市全体の人権・同和教育の課題を協議・解決する取り組みとし、保・幼・小・中学校の代表者、関係行政の各課、隣保館、児童館の代表者が一同に参加する年間3回の研修会を開催。</p>	<p>● 地域事情により取扱いに注意を要する教材もあるため、次回の教材改訂に関しては地域教材の制作を中心に努めていきたい。</p>	
(2)	学校・家庭・地域社会との連携・協力	
<p>○ 保育所、幼稚園の人権担当教職員、並びに小・中学校の学力・進路支援担当及び人権・同和教育主任の合同研修会を持ち、教材の共通理解と情報交換を行う。</p>	<p>○ 人権紙芝居や人権教育教材集「人権」を使った人権教育の実践をとおして、保育や授業案の検討によって、共通理解と実践の深まりがみられた。</p>	
実施した事業の内容		
<p>・ 中学校区を単位に、保・幼・小・中学校が合同又は単独の研修会を開催。意見交換。</p>	<p>● 地域教材を取り入れるなど今後の教材作成を十分視野に入れた取り組みを進めていきたい。</p>	
<p>○ 学校・家庭・地域社会の連携・協力を維持するため、保護者参画型の授業づくりや地域の資源を活用した授業・教材づくり等の工夫を図る。</p>	<p>◎ 人権学習を授業参観等で公開する小・中学校が多くみられるようになってきた。</p>	
実施した事業の内容		
<p>・ 人権・同和学習の年間計画の説明。授業前後の子どもたちの様子を保護者から聞き取り。 ・ 児童生徒による人権劇。</p>	<p>○ 人権学習の定着によって、子ども、保護者が一層身近な問題として考えられるようになってきた。</p> <p>● 教職員や学校間で授業内容に差がみられ、家庭や地域との連携にはより一層改善に努めていかななくてはならない。</p>	A
<p>○ 被差別の立場の人々の積極的な参加や協力を得て人権学習を進め、連携を推進する。</p>	<p>○ 教職員の人権感覚を磨き、児童生徒に対して被差別の立場の人々の思いを伝える学習を実践できた。</p>	
実施した事業の内容		
<p>・ 授業公開に向けた取り組み、実践と討議会、研修会などの場で、地域の方との意見交換を基に指導案づくり。</p>	<p>○ 保護者と連携した学習の広がりや高まりがみられた。</p> <p>● 地区を有する、有しない校区とも同一の授業が展開できるように指導案等の検討・改善が必要である。</p>	

重点課題 2 社会人権教育の推進

具体的な取組内容(教育方針)		得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
(1)	研修会の充実		
	○PTA総会や公開授業の機会を捉え、保護者等への研修会を実施する。	○講演会や授業参観等をとおして、保護者等に人権・同和問題について理解を深める機会を提供することが増えてきた。	A
	実施した事業の内容		
	・保護者等を対象に、保・幼・小・中学校が開催する人権講演会へ人権教育指導員や外部講師の派遣。	●近年のLGBT等の人権問題にも関心が深まるように、それぞれの専門分野を有する外部講師の選出に努めていきたい。	
	○公民館・隣保館等の社会教育施設において、学習活動の充実を図る。	○公民館や隣保館・児童館の行事に人権教育指導員を講師として派遣し、参加協力することで連携が一層深まった。	
	実施した事業の内容		
	・研修会・講演会に、人権教育指導員や外部講師を派遣。文化祭等にも協力。	●保・幼・小・中学校と比較して公民館・自治会等での社会啓発活動が質・量的に少なく薄い。	
	○身近な人権問題や参加型学習等の内容の工夫・改善を行う。	○市広報誌「広報みとよ」等を通じて、多様な人権問題の記事の掲載が定着してきた。	A
	実施した事業の内容		
	・定期的に市広報誌「広報みとよ」へ人権啓発記事を掲載。	●隣保館・児童館から、人権課題について地域の方の体験談を語る場の働きかけを行う必要がある。	
(2)	人権教育指導者の育成		
	○社会教育関係団体や公民館等の指導的立場にある人々を対象とした研修会を充実させる。	○学校での人権教育の取り組み状況を公民館等の研修の場で実践報告することで、連携・協力が図れた。	A
	実施した事業の内容		
	・公民館等の各種団体の研修の場に、人権教育指導員を講師として派遣し、人権・同和問題に関する講演会等を開催。 ・人権教育の指導者養成のための各種研修会・講演会等へ積極的に参加。	●現地研修や被差別者の体験談を聞くなど一層効果的な内容等を再検討し、研修を重ねることで、リーダー的人材を養成する必要がある。	
	○市職員を対象に人権意識・人権感覚の向上のための研修会を継続的に実施する。	○アンケート調査結果を集計・分析することで、職員の人権意識の状況を把握した。	
	実施した事業の内容		
	・人権課が毎年実施している職員の人権・同和問題研修会で、人権に関する意識調査。	●アンケート調査結果や研修内容、さらにはLGBTなど近年の人権課題も取り入れたアンケート内容の検討が必要である。	

⑩ 学校給食の方針

担当課:学校給食課

基本方針	三豊の幸の豊かさを大切にする安全・安心な学校給食
------	--------------------------

重点課題 1 三豊の幸の豊かさを大切にする安全・安心な学校給食

具体的な取組内容(教育方針)	得られた成果◎○ 課題と今後の取組●	評価
(1) 安全・安心な給食の提供		
○HACCP(危害分析重要管理点)方式の概念を取り入れ、文部科学省の「学校給食衛生管理基準」や厚生労働省の「大量調理施設衛生管理マニュアル」を遵守し、衛生管理に努める。	○南部学校給食センター調理等業務委託のモニタリング評価の結果、各評価項目において市の要求する基準を満たしていることが確認できた。	A
実施した事業の内容	○各調理場における機器等の点検を実施し、安全性確保のための施設修繕及び機器更新等を実施した。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・南部学校給食センター調理等業務委託のモニタリング評価。</li> <li>・各調理場における施設、設備の適切な維持管理。</li> </ul>	●北部地区の抜本的な衛生管理の向上にあたっては、北部学校給食センターの整備が必要である。	
○北部学校給食センターの整備内容を検討する。	○建設用地、整備手法、施設規模及び運営手法等についての検討を行った。	
実施した事業の内容	●整備方針の決定のための協議をすすめていく。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・北部学校給食センター整備内容の検討。</li> </ul>		
(2) 地産地消の推進		
○香川県産及び三豊市産の産物を、積極的に食材に取り入れる。	○学校給食生産者会議を開催し、現状の問題点を把握し改善策を話し合うことにより、一層の地場産物の納入の促進が図られた。	A
実施した事業の内容	○栄養教諭や調理員等を対象に学校給食地産地消研修会を実施し、地場産物についての知識や理解を深めた。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食生産者会議の開催。</li> <li>・学校給食地産地消研修会の実施。</li> </ul>	●地場産物の納入体制の充実を図り、三豊市産地場産物の使用率の向上を目指す。	

# 資 料

## 1 教育委員会委員及び組織

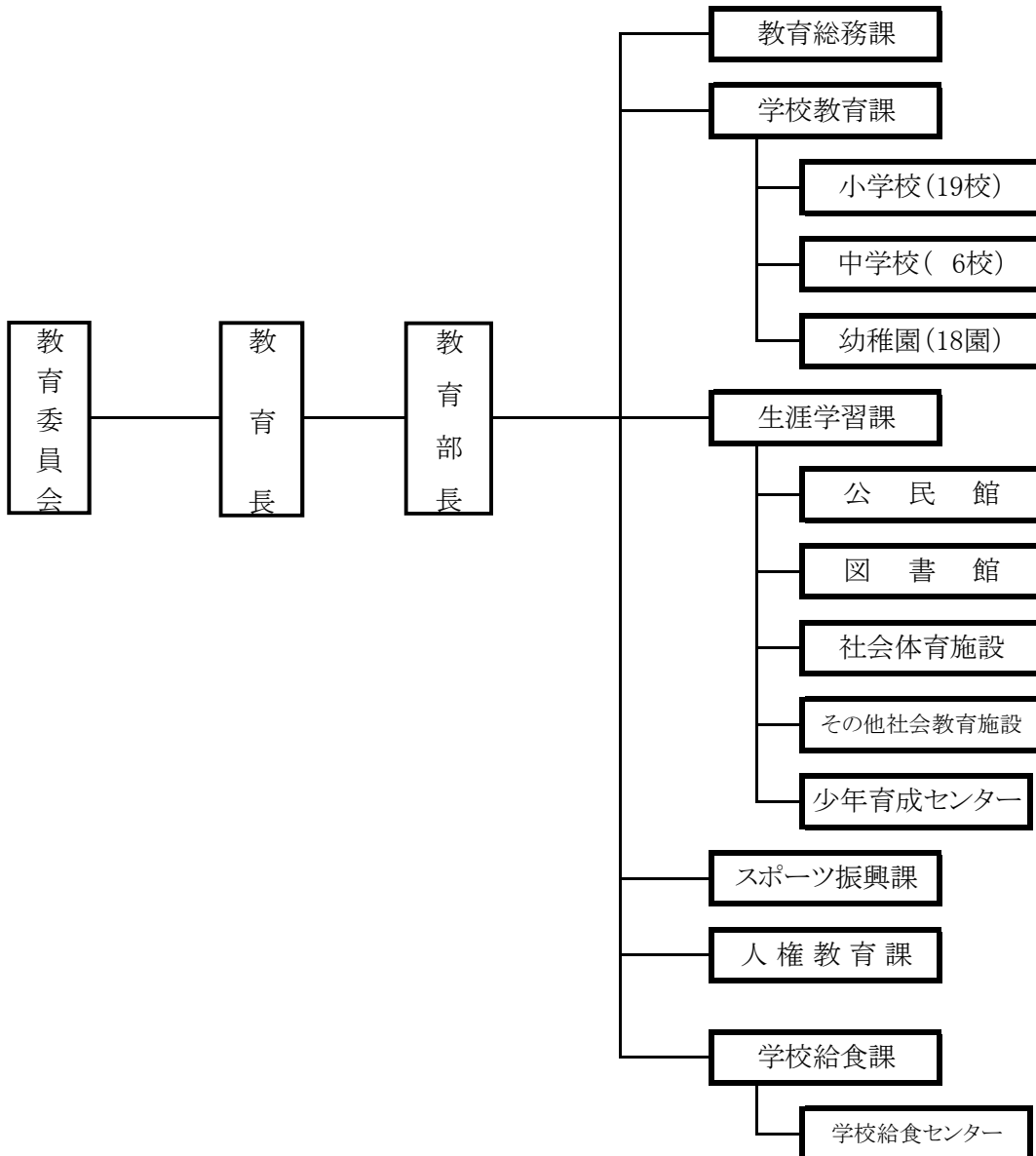
### (1) 教育委員会委員

(令和2年3月31日現在)

職 名	氏 名	
教 育 長	三 好 覚	平成30年8月1日 ～ 令和3年3月31日
教 育 長 職 務 代 理	細 川 芳 樹	平成30年8月1日 ～ 令和4年7月31日
委 員	山 崎 市 子	平成29年3月1日 ～ 令和3年2月28日
委 員	堤 重 尊	平成30年3月1日 ～ 令和4年2月28日
委 員	松 田 真 喜 子	令和2年2月29日 ～ 令和6年2月28日

### (2) 教育委員会の組織

(令和2年3月31日現在)



## 2 公立学校施設の概要

### (1) 小学校

令和元年5月1日現在(単位:人、室、㎡)

学校名	学級数	児童数	本務教員数	本務職員数	建物面積		屋外運動場
					校舎	屋内運動場	
上高瀬小学校	9	214	17	9	3,744	692	15,095
勝間小学校	6	147	14	6	2,877	792	11,359
比地小学校	6	151	13	5	2,812	1,209	23,526
二ノ宮小学校	6	70	11	4	2,847	694	6,413
麻小学校	6	145	15	5	3,299	741	8,204
山本小学校	12	321	23	7	5,181	903	8,502
辻小学校	平成28年度より廃校(山本小学校に統合)						
河内小学校	平成28年度より廃校(山本小学校に統合)						
大野小学校	平成28年度より廃校(山本小学校に統合)						
神田小学校	平成28年度より廃校(山本小学校に統合)						
大見小学校	6	149	13	3	3,559	944	11,743
下高瀬小学校	7	193	15	8	5,283	①1,222	10,845
吉津小学校	6	151	13	5	3,528	922	17,357
桑山小学校	6	114	13	7	2,027	836	5,869
比地大小学校	6	108	12	5	1,803	836	5,308
笠田小学校	6	120	12	5	2,222	843	7,956
上高野小学校	6	84	12	4	2,224	836	8,945
本山小学校	6	127	13	5	2,079	729	6,334
松崎小学校	6	106	13	7	3,694	560	3,244
詫間小学校	17	460	34	17	6,710	996	9,889
大浜小学校	平成31年度より廃校(詫間小学校に統合)						
箱浦小学校	平成26年度より廃校(詫間小学校に統合)						
粟島小学校	平成26年度より廃校(詫間小学校に統合)						
仁尾小学校	9	227	21	12	5,964	919	12,565
曾保小学校	4	12	5	3	1,719	587	3,154
財田小学校	7	169	16	7	4,704	943	③ 0
財田上小学校	平成28年度より廃校(財田小学校に統合)						
財田中小学校	平成28年度より廃校(財田小学校に統合)						
計	137	3,068	285	124	66,276	16,204	176,308

① 下高瀬小学校の屋内運動場は、三野町体育センターが兼ねている。

② 財田町総合運動公園を使用している。

## (2) 中学校

令和元年5月1日現在(単位:人、室、㎡)

学校名	学級数	生徒数	本務教員数	本務職員数	建物面積		屋外運動場
					校舎	屋内運動場	
高瀬中学校	11	365	31	7	8,049	1,805	13,676
三野津中学校	8	250	23	6	6,393	1,515	13,396
豊中中学校	9	286	27	6	4,606	③3,389	10,930
詫間中学校	10	287	26	16	6,801	2,156	13,620
粟島中学校	平成26年度より廃校						
仁尾中学校	6	158	19	5	4,339	898	15,781
和光中学校	3	99	15	5	3,932	1,295	10,562
計	47	1,445	141	45	34,120	11,058	77,965

③ 豊中中学校の屋内運動場は、豊中町体育館が兼ねている。

## (3) 幼稚園

令和元年5月1日現在(単位:人、室、㎡)

幼稚園名	学級数	園児数	本務教員数	本務職員数	建物面積	運動場面積
上高瀬幼稚園	5	67	8	-	783	973
勝間幼稚園	3	45	5	-	678	1,605
比地二幼稚園	3	47	5	-	651	778
二ノ宮幼稚園	3	15	4	-	486	1,346
麻幼稚園	2	14	4	-	885	541
辻幼稚園	3	26	5	-	551	778
河内幼稚園	2	8	3	-	382	897
大野幼稚園	3	29	4	-	590	1,110
神田幼稚園	平成29年度より休園					
大見幼稚園	3	41	6	-	857	2,751
下高瀬幼稚園	3	41	4	-	752	1,405
吉津幼稚園	3	49	5	-	832	2,094
豊中幼稚園	11	248	19	1	2,941	2,420
松崎幼稚園	3	22	7	-	531	1,891
詫間幼稚園	5	85	11	-	1,181	770
大浜幼稚園	平成31年度より廃園					
箱浦幼稚園	平成26年度より廃園					
粟島幼稚園	平成26年度より廃園					
平石幼稚園	4	61	7	-	1,141	1,800
曾保幼稚園	1	3	3	-	402	472
財田幼稚園	3	58	4	1	825	400
計	60	859	104	2	14,468	22,031



